



JFEグループ

2007年度 第3四半期決算

2007年度 業績見通し

2008年2月4日

【第Ⅰ部】

- JFEグループ2007年度 第3四半期決算
及び 年度業績見通し
 - JFEスチール
 - JFEエンジニアリング
 - JFEホールディングス

【第Ⅱ部】

- JFEスチールの成長戦略について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



JFEグループ

2007年度 第3四半期決算



JFE

07年度 第3四半期決算

(億円)

	2006年度 第3四半期		2007年度 第3四半期		増減 (b-a)	増減 (B-A)
	10月1日~ 12月31日 (a)	合計(A)	10月1日~ 12月31日 (b)	合計(B)		
売上高	7,941	22,808	8,578	25,271	637	2,463
営業利益	1,270	3,451	1,248	3,787	▲ 22	336
経常利益	1,305	3,544	1,269	* 3,877	▲ 36	* 333
税前利益	1,298	3,487	1,274	3,881	▲ 24	394
税・少持	▲ 553	▲ 1,396	▲ 546	▲ 1,544	7	▲ 148
当期純利益	745	2,091	728	2,336	▲ 17	245

ROS

15.5%

15.3%

△0.2%

※減価償却制度変更影響(▲267億円)を含む



JFEグループ

2007年度 連結業績見通し



2007年度業績見通し

JFE

対前回(10/25)公表値

(単位:億円)

	07年度見通し (10/25)		07年度見通し (2/4)			年間
	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	18,707	35,400	16,693	18,407	35,100	▲ 300
営業利益	2,862	5,400	2,538	2,562	5,100	▲ 300
営業外損益	▲ 69	0	69	▲ 170	▲ 100	▲ 100
経常利益	2,792	5,400	2,608	2,392	5,000	▲ 400
特別損益	1	0	▲ 1	▲ 499	▲ 500	▲ 500
税前提利益	2,793	5,400	2,607	1,893	4,500	▲ 900
税・少持	▲ 1,202	▲ 2,200	▲ 998	▲ 902	▲ 1,900	300
当期純利益	1,592	3,200	1,608	992	2,600	▲ 600

ROS

15.3%

14.2%

△1.1%



2007年度 特別損益と当期損益

(単位:億円)

	上期	下期	年度
経常利益	2,608	2,392	5,000
特別損益	▲ 1	▲ 499	▲ 500
■ 資産処分損益	13	1	14
■ 訴訟損失引当金繰入額	▲ 14	0	▲ 14
■ 特定事業損失引当金繰入額(※) 等		▲ 500	▲ 500
税引前当期利益	2,607	1,893	4,500
税金費用・少数株主損益	▲ 998	▲ 902	▲ 1,900
当期純利益	1,608	992	2,600

※ JFEエンジニアリング(株)の子会社であるJFE環境ソリューションズ(株)が長期契約を締結し、運転・保守を行っている施設のうち数件において、契約期間を通じて将来損失が見込まれることとなったため、当期に一括して前倒しで引き当てることと致します。これは、将来に向けた一層の財務体質の健全化を目的としたものであり、これにより、先行きのリスクに対する透明性の確保を図ってまいります。



2007年度業績見通し

JFE

対前年実績

(単位:億円)

	06年度実績		07年度見通し (2/4)		増減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上高	14,866	32,604	16,693	35,100	1,827	2,496
営業利益	2,180	5,039	2,538	5,100	358	61
営業外損益	58	95	69	▲ 100	11	▲ 195
経常利益	2,238	5,135	2,608	※ 5,000	370	※ ▲ 135
特別損益	▲ 49	▲ 48	▲ 1	▲ 500	48	▲ 452
税前利益	2,188	5,086	2,607	4,500	419	▲ 586
税・少持	▲ 843	▲ 2,089	▲ 998	▲ 1,900	▲ 155	189
当期純利益	1,345	2,996	1,608	2,600	263	▲ 396
ROS		15.8%		14.2%		▲ 1.6%

※減価償却制度変更影響(▲375億円)を含む



2007年度業績見通し ～セグメント別～

JFE

対前回(10/25)公表値

(単位:億円)

	07年度見通し(10/25)		07年度見通し(2/4)			年間
	下期	年間	上期	下期	年間	
鉄鋼事業	16,457	31,900	15,443	16,257	31,700	▲ 200
エンジニアリング事業	2,004	3,100	1,096	2,004	3,100	0
その他	247	400	153	147	300	▲ 100
売上高	18,707	35,400	16,693	18,407	35,100	▲ 300
鉄鋼事業	2,728	5,350	2,622	2,528	5,150	▲ 200
エンジニアリング事業	46	▲ 60	▲ 106	▲ 4	▲ 110	▲ 50
その他	89	110	21	39	60	▲ 50
営業利益	2,862	5,400	2,538	2,562	5,100	▲ 300
鉄鋼事業	2,657	5,300	2,643	2,357	5,000	▲ 300
エンジニアリング事業	78	30	▲ 48	8	▲ 40	▲ 70
その他	58	70	12	28	40	▲ 30
経常利益	2,792	5,400	2,608	2,392	5,000	▲ 400



2007年度業績見通し ~セグメント別~

JFE

対前年実績

(単位: 億円)

	06年度実績		07年度見通し(2/4)		増 減	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間
鉄 鋼 事 業	13,709	29,251	15,443	31,700	1,734	2,449
エンジニアリング事業	987	2,921	1,096	3,100	109	179
そ の 他	169	432	153	300	▲ 16	▲ 132
売 上 高	14,866	32,604	16,693	35,100	1,827	2,496
鉄 鋼 事 業	2,203	4,999	2,622	5,150	419	151
エンジニアリング事業	▲ 35	▲ 19	▲ 106	▲ 110	▲ 71	▲ 91
そ の 他	11	59	21	60	10	1
営 業 利 益	2,180	5,039	2,538	5,100	358	61
鉄 鋼 事 業	2,229	5,039	2,643	5,000	414	▲ 39
エンジニアリング事業	3	58	▲ 48	▲ 40	▲ 51	▲ 98
そ の 他	6	37	12	40	6	3
経 常 利 益	2,238	5,135	2,608	5,000	369	▲ 135

JFEスチール

2007年度 第3四半期決算



JFE

2007年第3四半期 決算

JFEスチール

単位：億円

JFEスチール		10-12月	2006年 4-12月 A	4-6月	7-9月	10-12月	2007年 4-12月 B	対前年 同四半期 B-A
売上高	単体	(5,251)	(14,976)	(5,343)	(5,788)	(5,571)	(16,702)	(1,726)
		7,353	21,062	7,399	8,044	7,781	23,224	2,162
営業利益	単体	(1,000)	(2,671)	(1,101)	(992)	(966)	(3,059)	(388)
		1,287	3,489	1,353	1,269	1,266	3,889	400
経常利益	単体	(1,000)	(2,834)	(1,275)	(901)	(954)	(3,131)	(297)
		1,299	3,528	1,461	1,182	1,268	3,912	384
ROS		17.7%	16.8%	19.7%	14.7%	16.3%	16.8%	0.0%



2006年4-12月⇒2007年4-12月 連結経常利益+384億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	10-12月	2006年 4-12月 A	4-6月	7-9月	10-12月	2007年 4-12月 B	対前年 同四半期 B-A
	単体	(1,000)	(2,834)	(1,275)	(901)	(954)	(3,131)
経常利益	1,299	3,528	1,461	1,182	1,268	3,912	384

■ コスト削減 + 270

■ 為替レート ▲ 60



フロー+10、換算差等▲70

■ 原料関連 ▲ 660



金属原料価格・フレート上昇

■ 数量・構成・価格 + 980



数量増、販売価格アップ等

■ 償却費制度変更 ▲ 240

■ その他 + 94



棚卸資産評価差等

合計 + 384



(参考) 生産・出荷状況

JFE

■ 単体粗鋼/出荷

(単位: 万t)

	06年度			07年度			対前年 同四半期 B-A
	10-12月	4-12月 A	4-6月	7-9月	10-12月	4-12月 B	
粗鋼生産	736	2,154	738	766	772	2,276	+122
鋼材出荷	668	1,941	661	701	687	2,049	+109

■ 連結粗鋼

粗鋼生産	834	2,440	837	853	867	2,558	+118
------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	------

JFEスチール

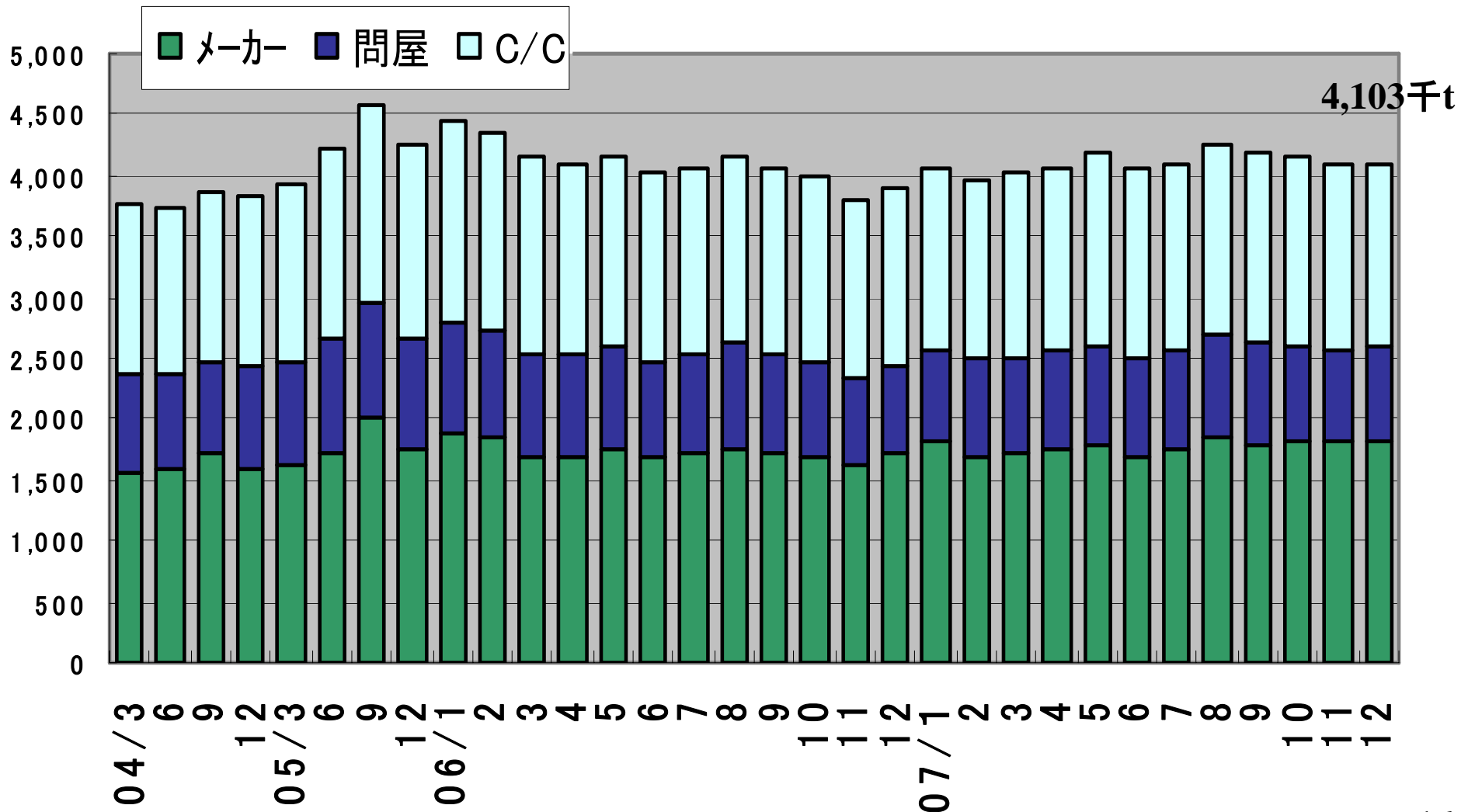
2007年度 業績見通し



JFE
(千トン)

国内販売環境

薄板3品在庫

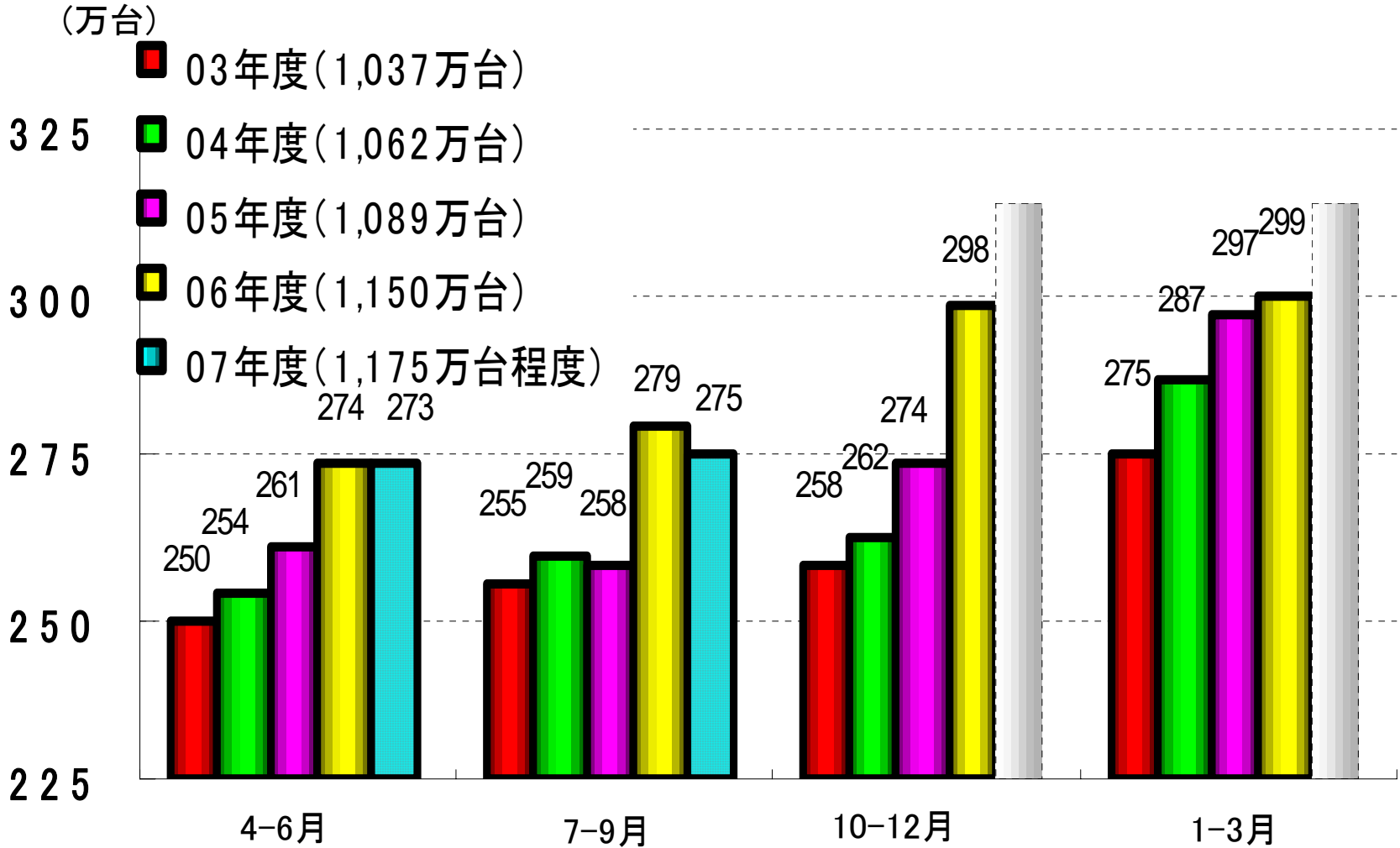




JFE

国内販売環境（自動車）

自動車生産台数



(07年度はJFE推定)



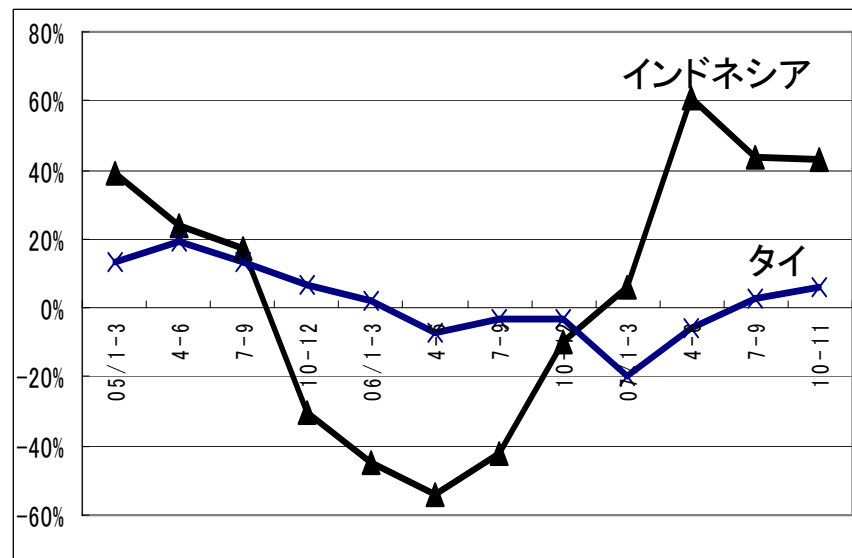
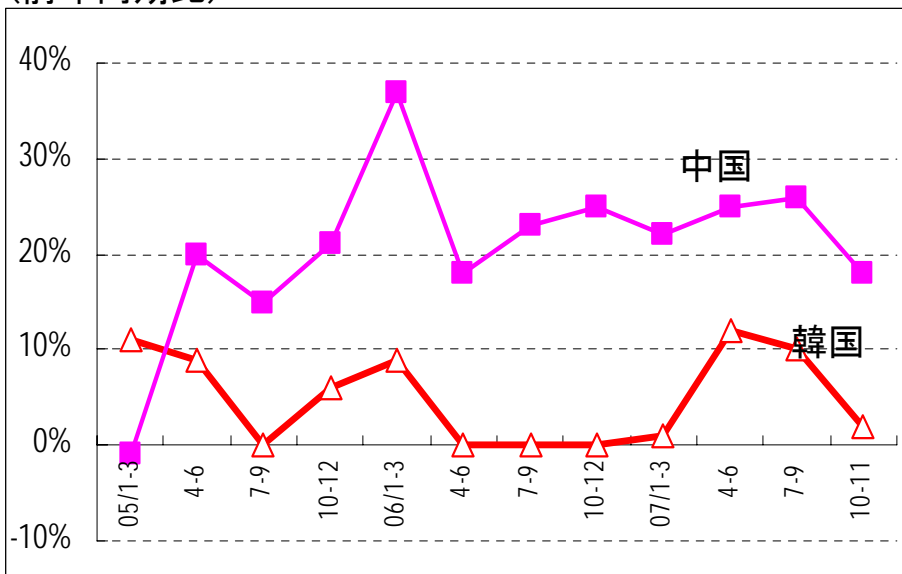
輸出販売環境

JFE

■自動車販売:各国堅調に推移。

主要国自動車販売

(前年同期比)



※韓国は輸出販売も含む

(単位:万台)

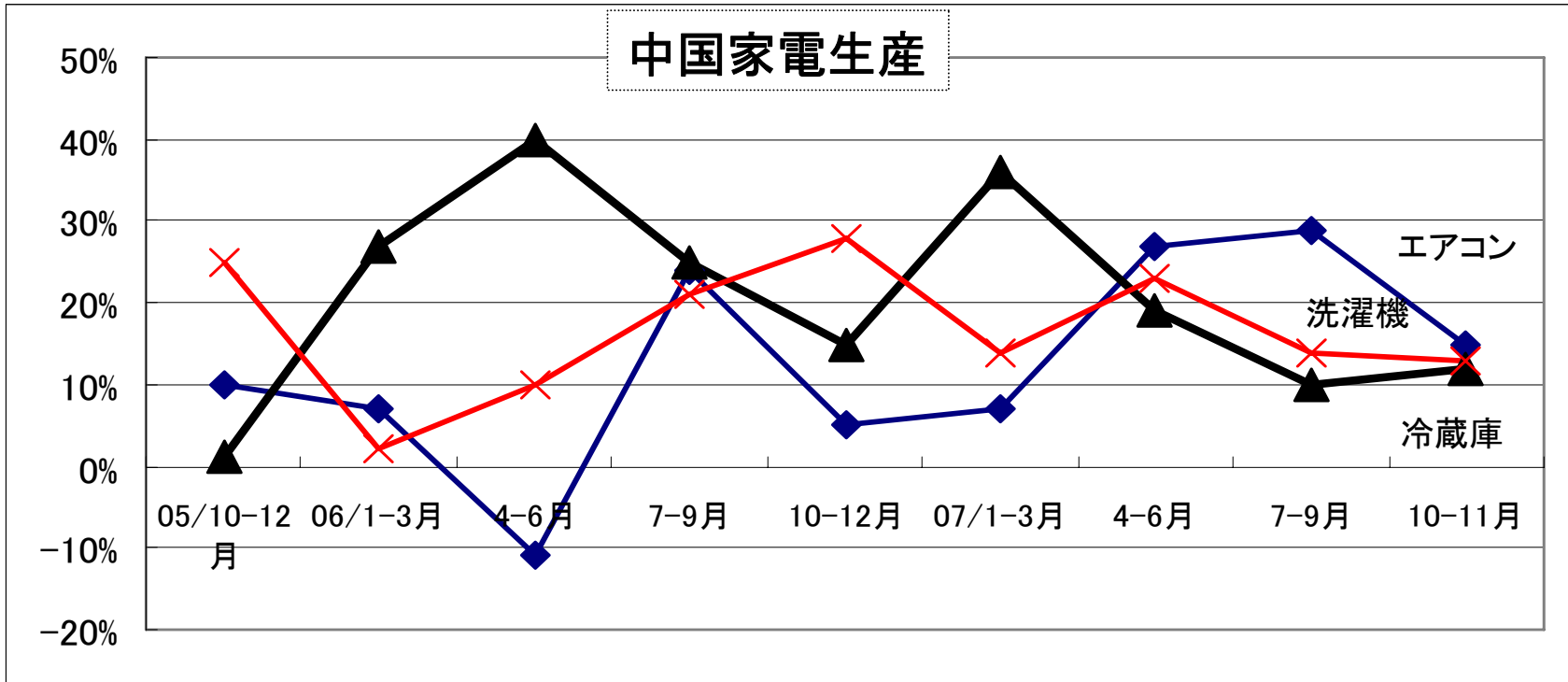
	05年		06年		前年比		07年1-3月		前年比		4-6月		前年比		7-9月		前年比		10-11月		前年比	
	販売	輸出	販売	輸出	増減	増減率	販売	輸出	増減	増減率	販売	輸出	増減	増減率	販売	輸出	増減	増減率	販売	輸出	増減	増減率
中国	576		721		+145	+25%	212		+39	+22%	225		+45	+25%	209		+43	+26%	149		+23	+18%
韓国	372		380		+8	+2%	97		+1	+1%	110		+12	+13%	90		+9	+10%	73		+1	+2%
タイ	70		68		▲2	▲3%	14		▲3	▲20%	15		▲1	▲6%	16		+1	+3%	12		+1	+6%
インドネシア	53		32		▲21	▲40%	8		+1	+6%	11		+4	+61%	12		+4	+44%	8		+2	+43%



輸出販売環境

JFE

■ 中国家電生産は好調継続。



(単位: 万台)

	05年	06年		07年1-3月			4-6月			7-9月			10-11月	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
エアコン	6,762	6,849	+87 +1%	2,125	+137 +7%	3,213	+688 +27%	1,937	+430 +29%	1,200	+158 +15%			
冷蔵庫	2,987	3,531	+544 +18%	1,116	+297 +36%	1,476	+240 +19%	1,307	+122 +10%	540	+58 +12%			
洗濯機	3,066	3,492	+426 +14%	867	+107 +14%	736	+136 +23%	950	+114 +14%	823	+25 +13%			

出所: 中国国家统计局



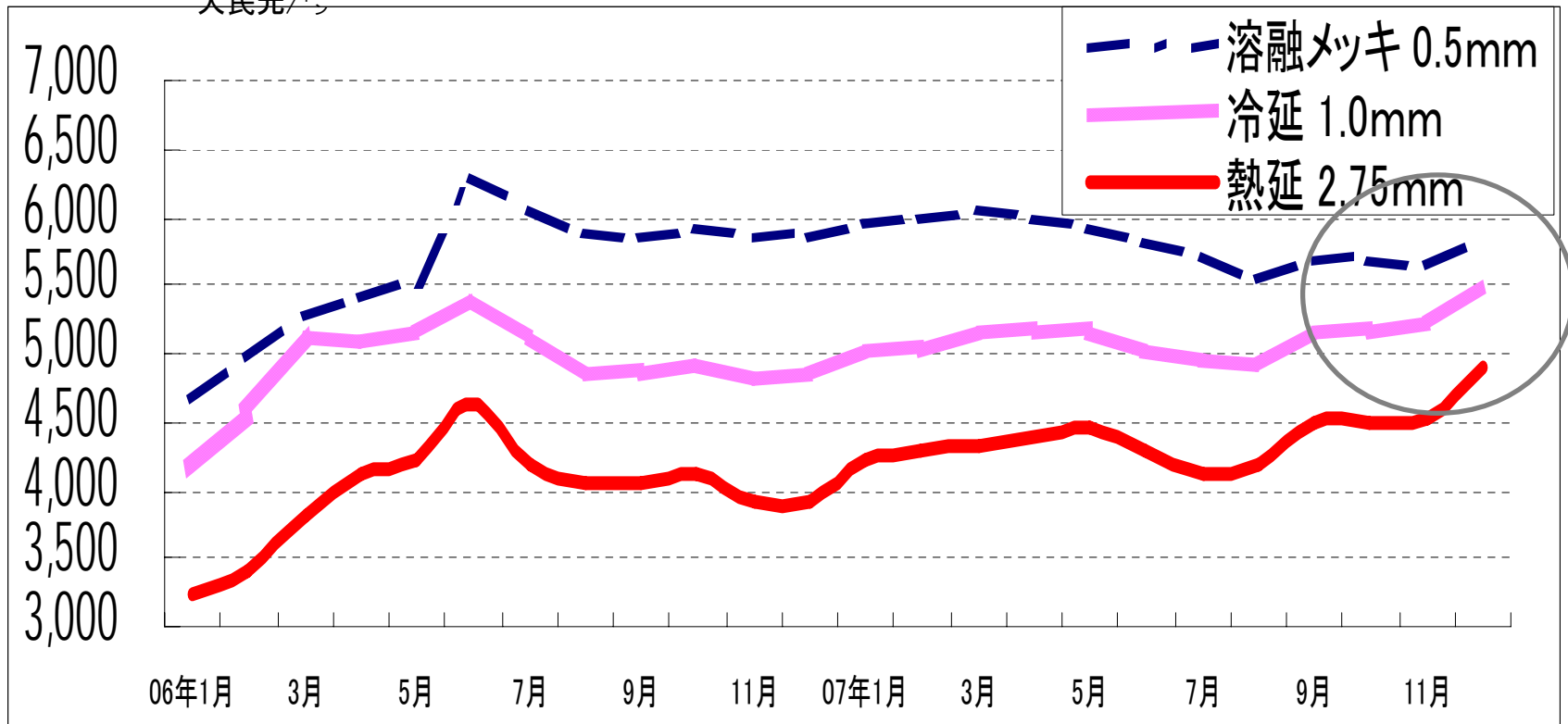
輸出販売環境

JFE

■ 需要堅調、及び08年は原材料価格の上昇が予想されることから、
今後市況は上昇し続けると推定される。

◆ 中国薄板市況推移

人民币/トン



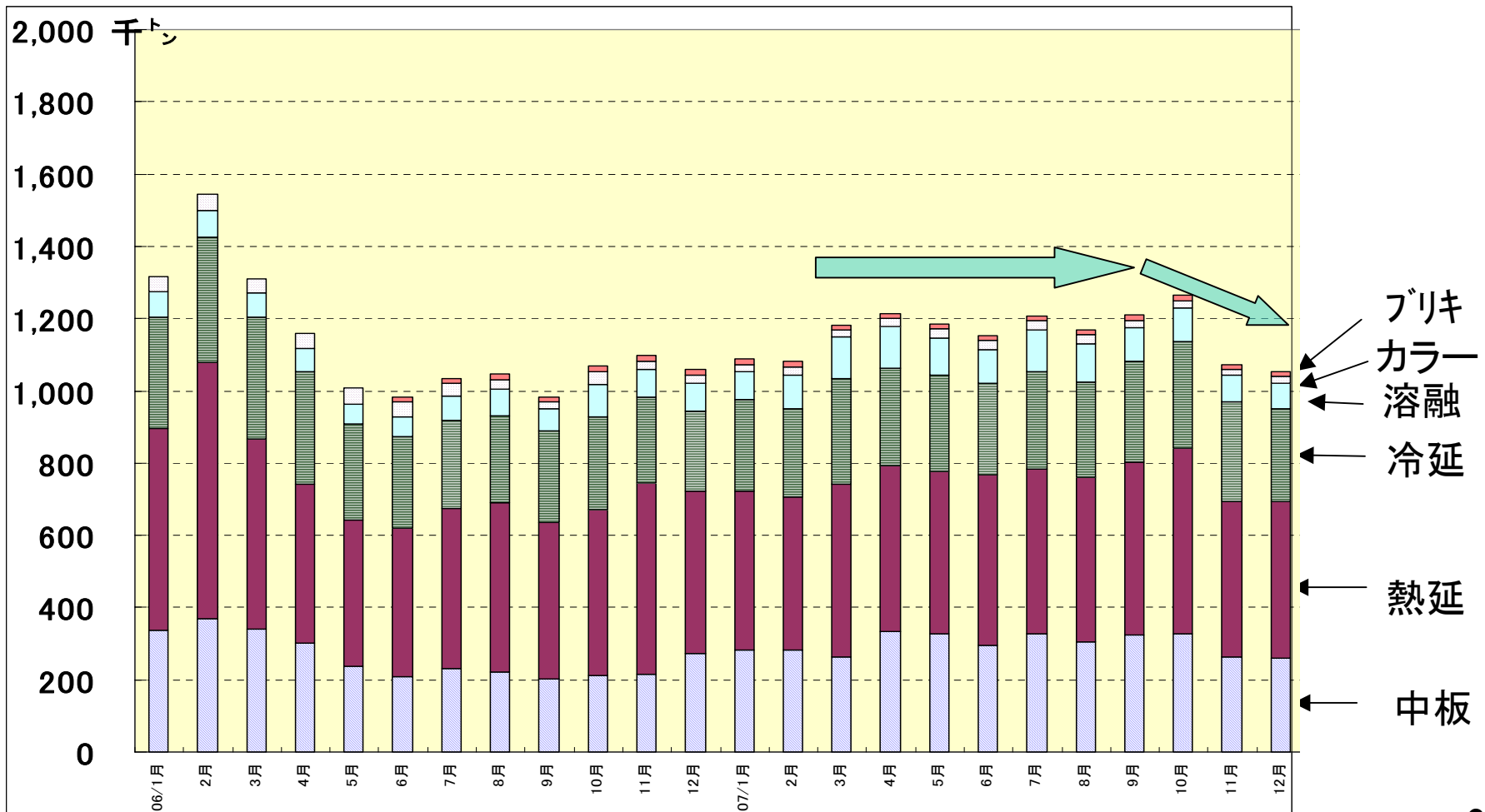
出所:中国物資価格情報 増値税含む
全国18地区鋼材市場の平均値



輸出販売環境

JFE 中国薄板在庫 ~華東地区薄板在庫(公共倉庫)~

■在庫は大きな変動無し。



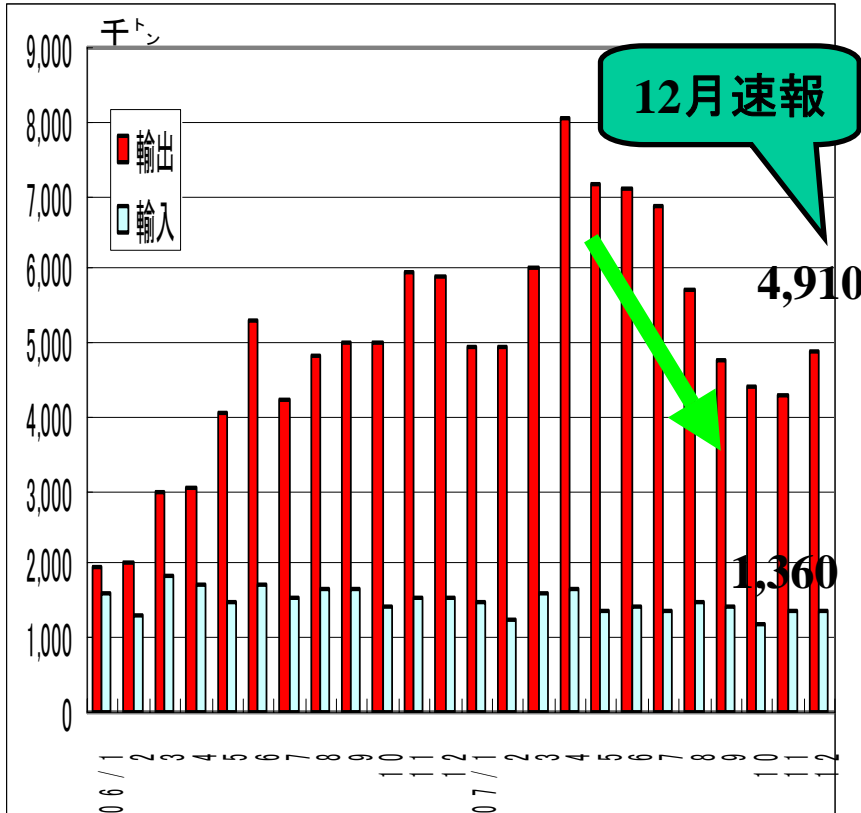


輸出販売環境

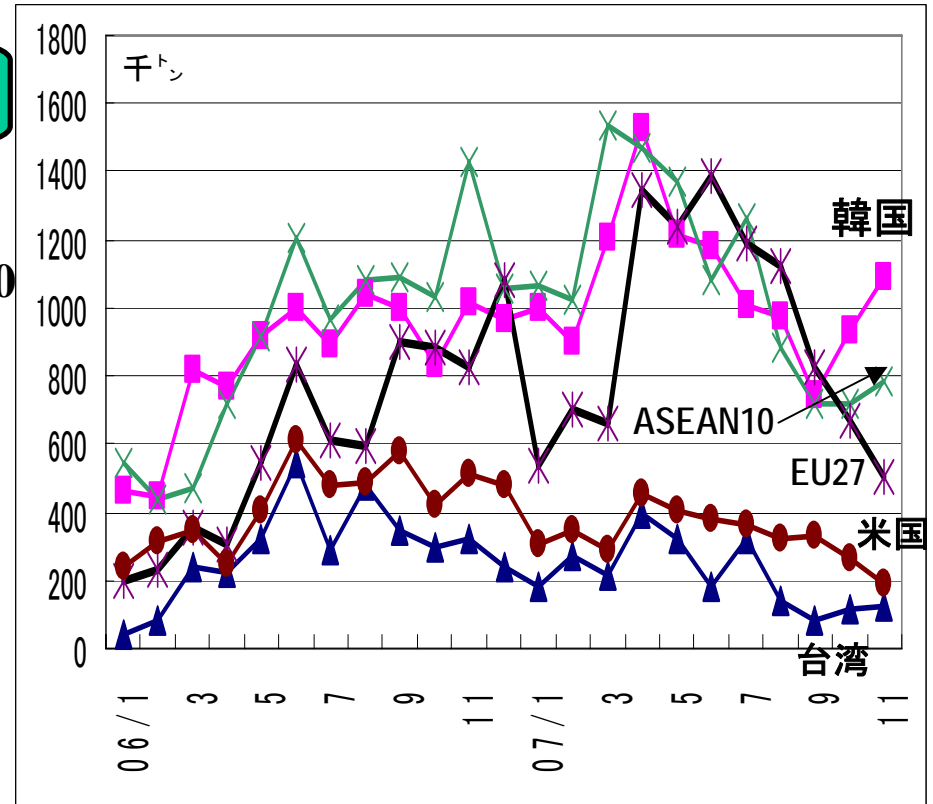
JFE

■ 中国鋼材輸出は昨年4月をピークに減少傾向。

◆ 中国 鋼材輸出入推移(半製品含む)



◆ 中国 仕向け国別鋼材輸出推移



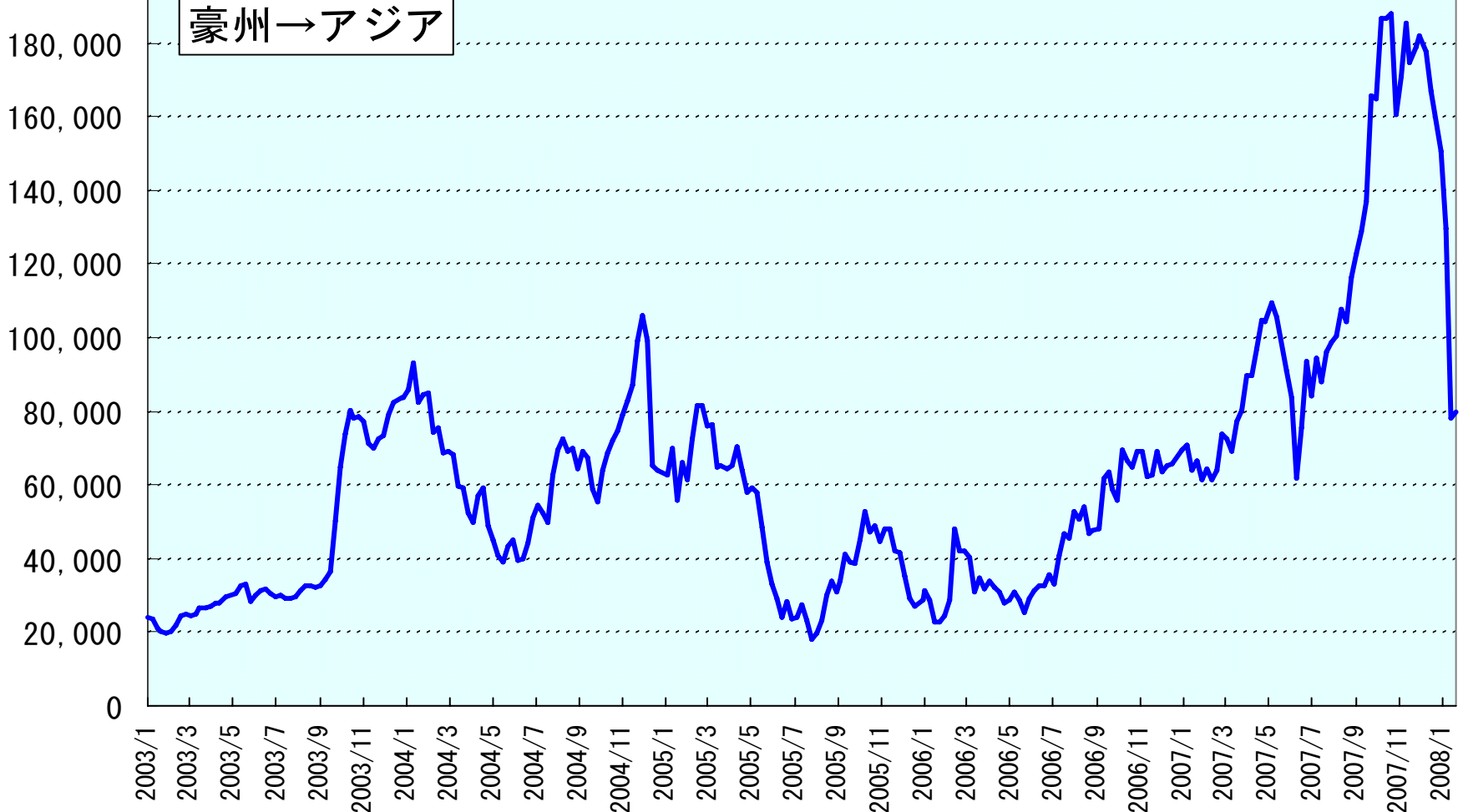
出所: 中国税関総署



JFE

(\$/日)
200,000

原料市況(スポット傭船料推移)



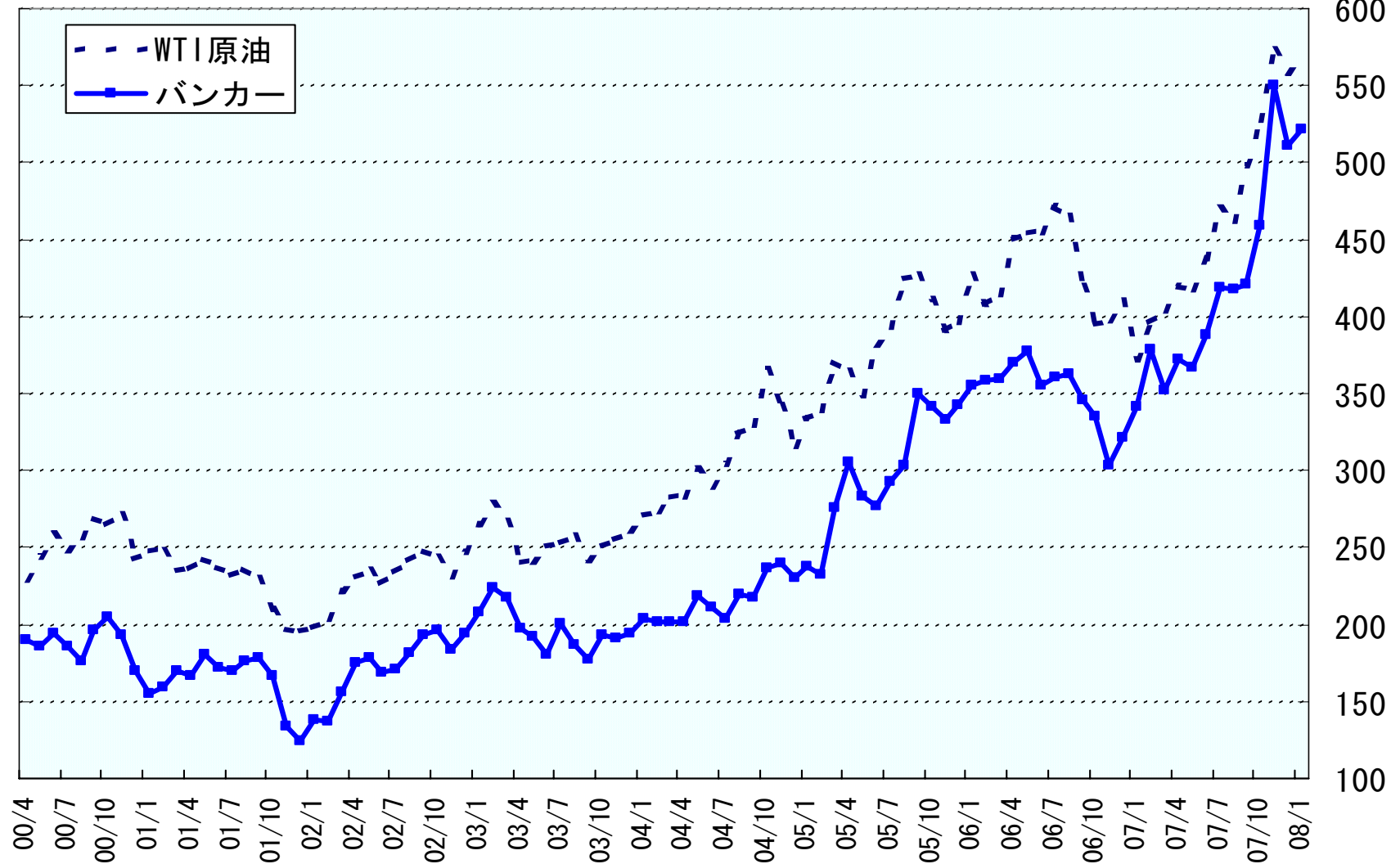


原料市況 (原油・バンカー価格推移)

JFE

(原油 : \$/bbl)

(バンカー : \$/T)

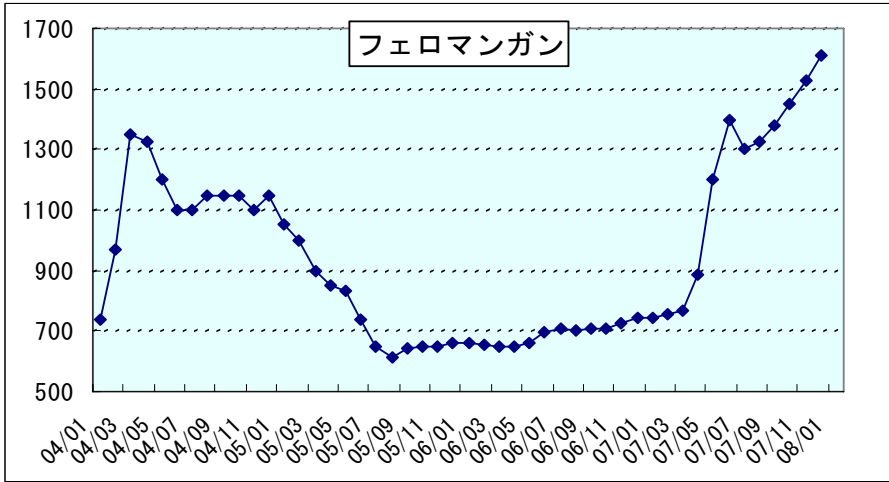




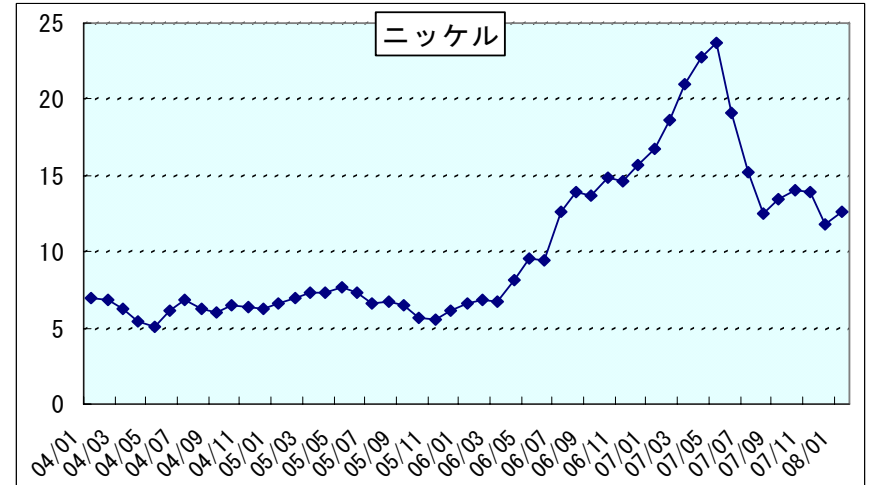
原料市況(金属類価格推移)

JFE

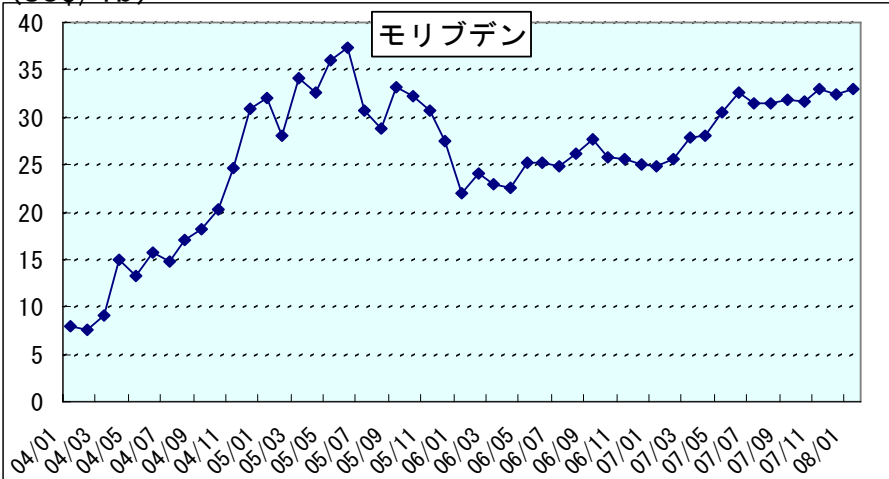
(US\$/T)



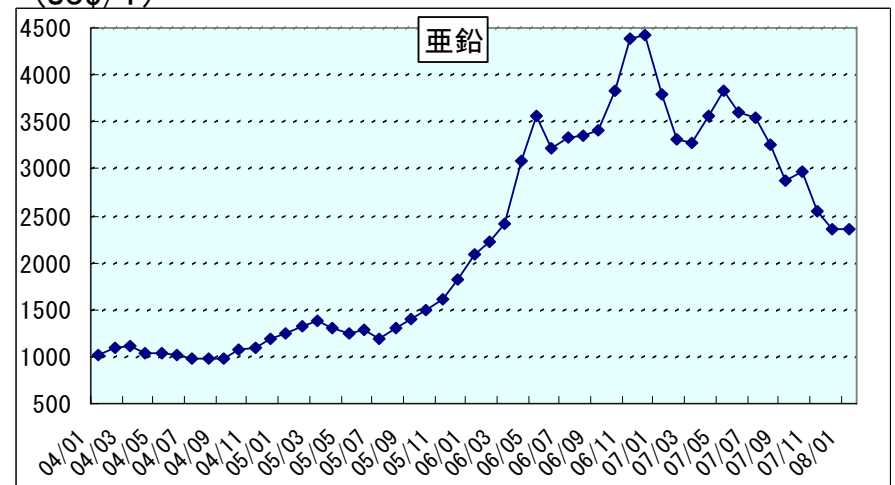
(US\$/lb)



(US\$/lb)



(US\$/T)





当社の状況

JFE

単体数量前提(万t)

	05年度	06年度	07年度		
			4-12月	1-3月	
	(実績)	(実績)	(実績)	(見通し)	(見通し)
粗鋼生産	2,672	2,904	2,276	754	3,030
鋼材出荷	2,457	2,643	2,049	711	2,760

平均単価(千円/t)	76.9	76.0	79.5	79	79
為替	112.9	116.9	117.6	111 (2-3月)105	115

連結粗鋼生産	3,015	3,283	2,557	843	3,400
--------	-------	-------	-------	-----	-------

○需要堅調の中、実需見合いの生産を継続。

- ・国内 自動車・造船・産機を中心とした製造業向けは需要旺盛な環境。
- ・輸出 高級品分野堅調。



JFE

07年度業績見通し

単位: 億円

JFEスチール	06年度 実績 A	07年度前回(10/25)			07年度今回				年度差異 06→07 C-A	年度差異 前回→今回 C-B
		上期	下期	B	上期	下期		C		
						10-12月				
単体	(20,555)	(11,131)	(11,369)	(22,500)	(11,131)	(5,571)	(11,269)	(22,400)	(1,845)	(▲100)
売上高	29,251	15,443	16,457	31,900	15,443	7,781	16,257	31,700	2,449	▲200
単体	(3,888)	(2,093)	(2,207)	(4,300)	(2,093)	(966)	(2,007)	(4,100)	(212)	(▲200)
営業利益	4,999	2,622	2,728	5,350	2,622	1,266	2,528	5,150	151	▲200
単体	(4,075)	(2,176)	(2,124)	(4,300)	(2,176)	(954)	(1,824)	(4,000)	(▲75)	(▲300)
経常利益	5,039	2,643	2,657	5,300	2,643	1,268	2,357	5,000	▲39	▲300
ROS	17.2%	17.1%	16.1%	16.6%	17.1%	16.3%	14.5%	15.8%	-1.4%	-0.8%



07年度 前回⇒今回 連結経常利益 ▲300億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	06年度 実績	07年度前回(10/25)		07年度今回			年度差異 06→07	年度差異 前回→今回		
		上期	下期	上期	下期					
					10-12月					
単体	(4,075)	(2,176)	(2,124)	(4,300)	(2,176)	(954)	(1,824)	(4,000)	(▲75)	(▲300)
経常利益	5,039	2,643	2,657	5,300	2,643	1,268	2,357	5,000	▲39	▲300

■ 為替レート

▲ 130



フロー▲20、換算差等▲110

■ 原料関連

▲ 210



フレート上昇他

■ 数量・構成・価格

+ 80



販売価格アップ

■ コスト他

▲ 40

合計

▲ 300



06年度⇒07年度 連結経常利益 ▲39億円内訳

JFE

単位: 億円

JFEスチール	06年度 実績	07年度前回(10/25)			07年度今回				年度差異 06→07	年度差異 前回→今回
		上期	下期		上期	下期				
						10-12月				
単体	(4,075)	(2,176)	(2,124)	(4,300)	(2,176)	(954)	(1,824)	(4,000)	(▲75)	(▲300)
経常利益	5,039	2,643	2,657	5,300	2,643	1,268	2,357	5,000	▲39	▲300

■ コスト削減

+ 230 ⇒

変動費+300、減価償却費▲70

■ 為替レート

▲ 170 ⇒

フロー▲20、換算差等▲150

■ 原料関連

▲ 900 ⇒

金属原料価格・フレート上昇

■ 数量・構成・価格

+1,240 ⇒

高級鋼増、販売価格アップ等

■ 償却費制度変更

▲ 330

■ その他

▲ 109 ⇒

金利、資産廃売却等

合計

▲ 39



JFE

2007年10-12月⇒2008年1-3月 連結経常利益▲179億円内訳

単位:億円

JFEスチール			07年度	差異 10-12月→ 1-3月
	2007年 10-12月	2008年 1-3月	下期	
単体	(954)	(870)	(1,824)	(▲84)
経常利益	1,268	1,089	2,357	▲179

- 為替レート ▲ 90 ⇒ フロー▲10、換算差等▲80
- 棚卸資産評価差 ▲ 70
- その他 ▲ 19

合計 ▲ 179



(参考)07年度上期⇒下期 連結経常利益 ▲286億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	06年度 実績	07年度前回(10/25)			07年度今回			年度差異 06→07	上下差異 今回上→下	
		上期	下期		上期	下期				
						10-12月				
単体	(4,075)	(2,176)	(2,124)	(4,300)	(2,176)	(954)	(1,824)	(4,000)	(▲75)	(▲352)
経常利益	5,039	2,643	2,657	5,300	2,643	1,268	2,357	5,000	▲39	▲286

■ コスト削減

▲ 70



減価償却費▲70

■ 為替レート

▲ 130



フロー▲40、換算差等▲90

■ 原料関連

▲ 310



フレート・金属原料価格上昇

■ 数量・構成・価格

+ 290



販売価格アップ等

■ その他

▲ 66



金利、受取配当金等

合計

▲ 286



JFEエンジニアリング

2007年度 業績見通し



2007年度 特別損益と当期損益

(単位:億円)

	上期	下期	年度
経常利益	2,608	2,392	5,000
特別損益	▲ 1	▲ 499	▲ 500
■ 資産処分損益	13	1	14
■ 訴訟損失引当金繰入額	▲ 14	0	▲ 14
■ 特定事業損失引当金繰入額(※) 等		▲ 500	▲ 500
税引前当期利益	2,607	1,893	4,500
税金費用・少数株主損益	▲ 998	▲ 902	▲ 1,900
当期純利益	1,608	992	2,600

※ JFEエンジニアリング(株)の子会社であるJFE環境ソリューションズ(株)が長期契約を締結し、運転・保守を行っている施設のうち数件において、契約期間を通じて将来損失が見込まれることとなったため、当期に一括して前倒しで引き当てることと致します。これは、将来に向けた一層の財務体質の健全化を目的としたものであり、これにより、先行きのリスクに対する透明性の確保を図ってまいります。



2007年度業績見通し

JFE

対前年実績

(億円)

	06年度実績			07年度見通し(今回)			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
受注高	1,326	1,425	2,751	1,358	1,742	3,100	32	317	349
売上高	987	1,934	2,921	1,096	2,004	3,100	109	70	179
営業利益	▲ 35	16	▲ 19	▲ 106	▲ 4	▲ 110	▲ 71	▲ 20	▲ 91
経常利益	3	55	58	▲ 48	8	▲ 40	▲ 51	▲ 47	▲ 98

民需を中心とした売上拡大はあるものの、資機材・工事費の高騰、民需向け新規分野の一部での追加コスト発生等により減益



2007年度業績見通し

JFE

対前回(10/25)公表値

(億円)

	07年度見通し(前回)			07年度見通し(今回)			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
受注高	1,358	1,842	3,200	1,358	1,742	3,100	0	▲ 100	▲ 100
売上高	1,096	2,004	3,100	1,096	2,004	3,100	0	0	0
営業利益	▲ 106	46	▲ 60	▲ 106	▲ 4	▲ 110	0	▲ 50	▲ 50
経常利益	▲ 48	78	30	▲ 48	8	▲ 40	0	▲ 70	▲ 70

【営業損失△110億の要因】

- 1 特定事業損失(07年度分)
- 2 ・08年度以降の受注損失引当金計上
- ・07年度損失

△70

△30

△10

計

△110

①05年度受注の長期PJでの資材・工事費高騰

△40

②民需向け新規分野の一部でのコスト増

△40

③その他(ベースロード事業 +70 一般物価上昇△30)

40



2007年度業績見通し

JFE

対前回(10/25)公表値

(億円)

	07年度見通し(前回)			07年度見通し(今回)			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
受注高	1,358	1,842	3,200	1,358	1,742	3,100	0	▲ 100	▲ 100
売上高	1,096	2,004	3,100	1,096	2,004	3,100	0	0	0
営業利益	▲ 106	46	▲ 60	▲ 106	▲ 4	▲ 110	0	▲ 50	▲ 50
経常利益	▲ 48	78	30	▲ 48	8	▲ 40	0	▲ 70	▲ 70

【前回公表時との差異 △50億円の要因】

- ① 民需向け新規分野の一部でのコスト増 △25
- ② 需給逼迫による施工工事費高騰 △25



JFEホールディングス

2007年度 連結業績見通し



2007年度業績見通し

JFE

対前回(10/25)公表値

(単位:億円)

	07年度見通し (10/25)		07年度見通し (2/4)			年間
	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	18,707	35,400	16,693	18,407	35,100	▲ 300
営業利益	2,862	5,400	2,538	2,562	5,100	▲ 300
営業外損益	▲ 69	0	69	▲ 170	▲ 100	▲ 100
経常利益	2,792	5,400	2,608	2,392	5,000	▲ 400
特別損益	1	0	▲ 1	▲ 499	▲ 500	▲ 500
税前提利益	2,793	5,400	2,607	1,893	4,500	▲ 900
税・少持	▲ 1,202	▲ 2,200	▲ 998	▲ 902	▲ 1,900	300
当期純利益	1,592	3,200	1,608	992	2,600	▲ 600

ROS

15.3%

14.2%

△1.1%

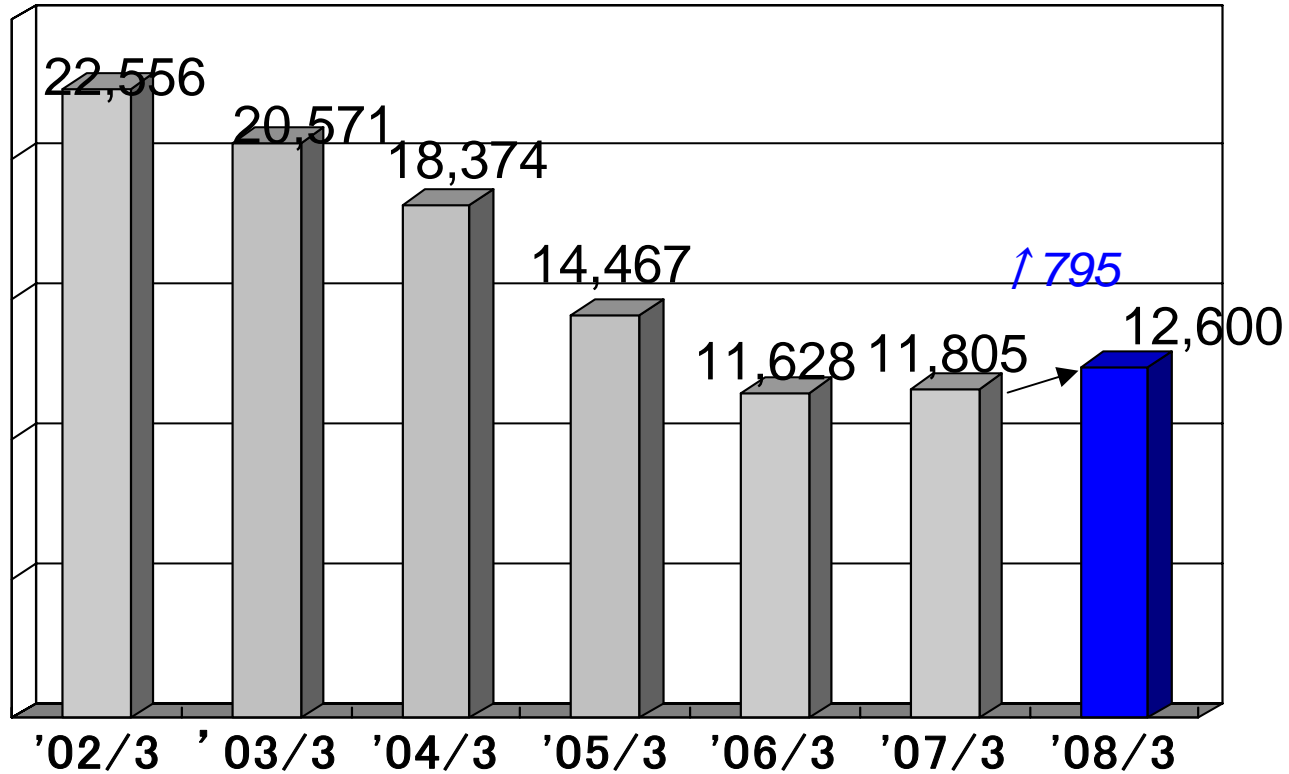


JFE

08/3借入金・社債残高の予想

(単位:億円)

経常利益	5,000	} 借入金増加 795
減価償却費	2,200	
設備投資(支払ベース)	▲2,300	
自己株取得	▲1,200	
税金・配当 他	▲4,495	





07年度期末配当

- 当期の配当につきましては、既にも実施致しました中間配当と合わせて1株につき120円(期末配当は1株につき60円)とする案を株主総会にお諮りする方針です。

(億円)

	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度(予)
経常利益	2,183	4,606	5,173	5,135	5,000
当期純利益	1,068	1,600	3,259	2,996	2,600
借入金・社債残高	18,374	14,467	11,628	11,805	12,600
株主資本	7,462	9,686	13,103	15,010	15,300
D/E	246%	149%	89%	79%	82%

(円)

一株当たり当期利益	186	274	555	514	447
一株当たり配当金	30	45	100	120	120円の方針
配当性向	16%	16%	18%	23%	27%

(参考)総還元性向(*)

16%

16%

18%

63%

73%

* 自己株取得を含む

【第Ⅱ部】

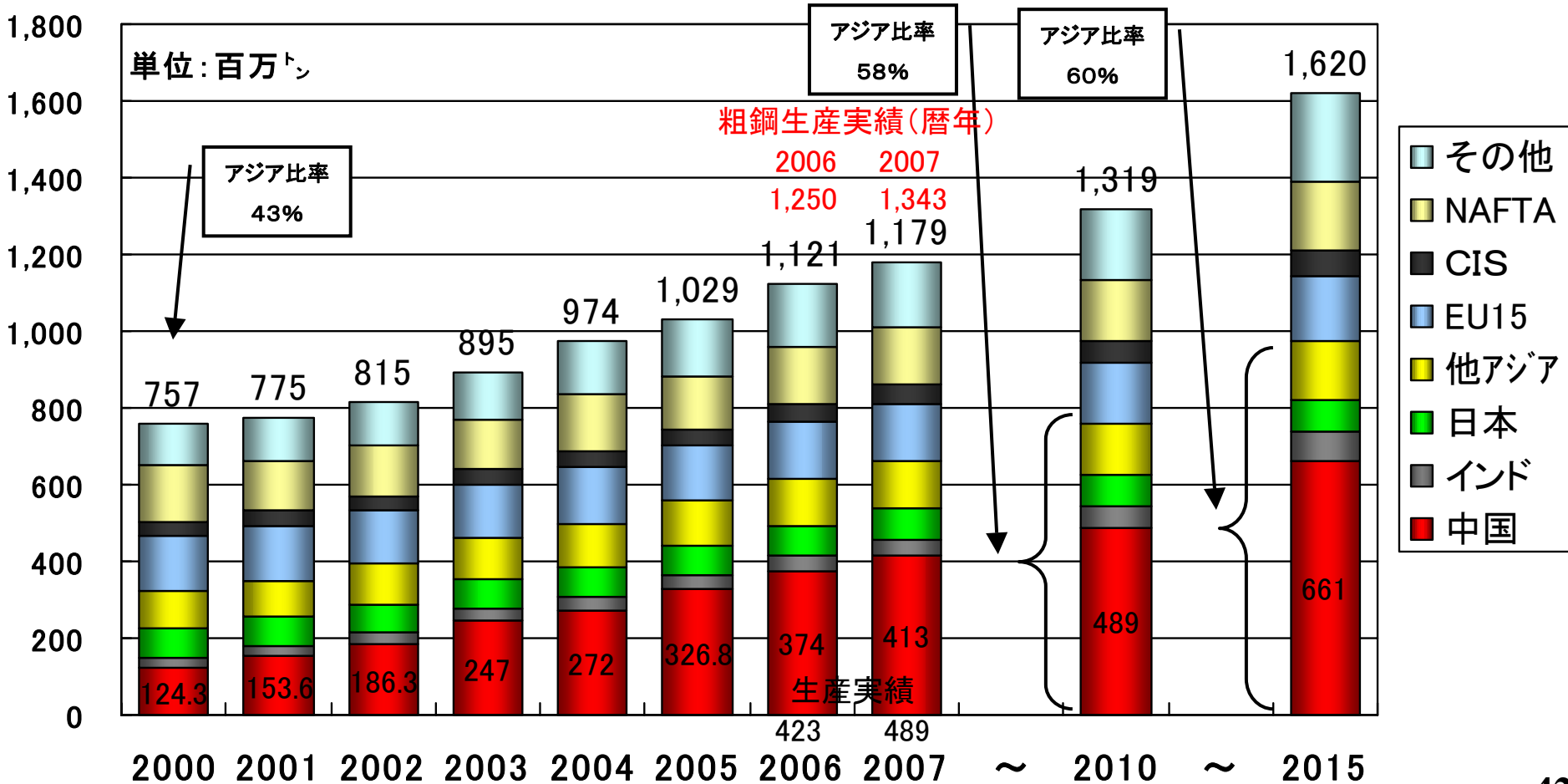
JFEスチールの成長戦略について



JFE

世界の鉄鋼需要推移 (IISI予測/06年10月時点)

- ◆世界需要の伸び(年率)・・・05/10年=3.4%、10/15年=4.2%
- ◆特に中国の伸びが顕著・・・05/10年=8.4%、10/15年=6.2%
⇒世界におけるアジア地域の比率がアップ。

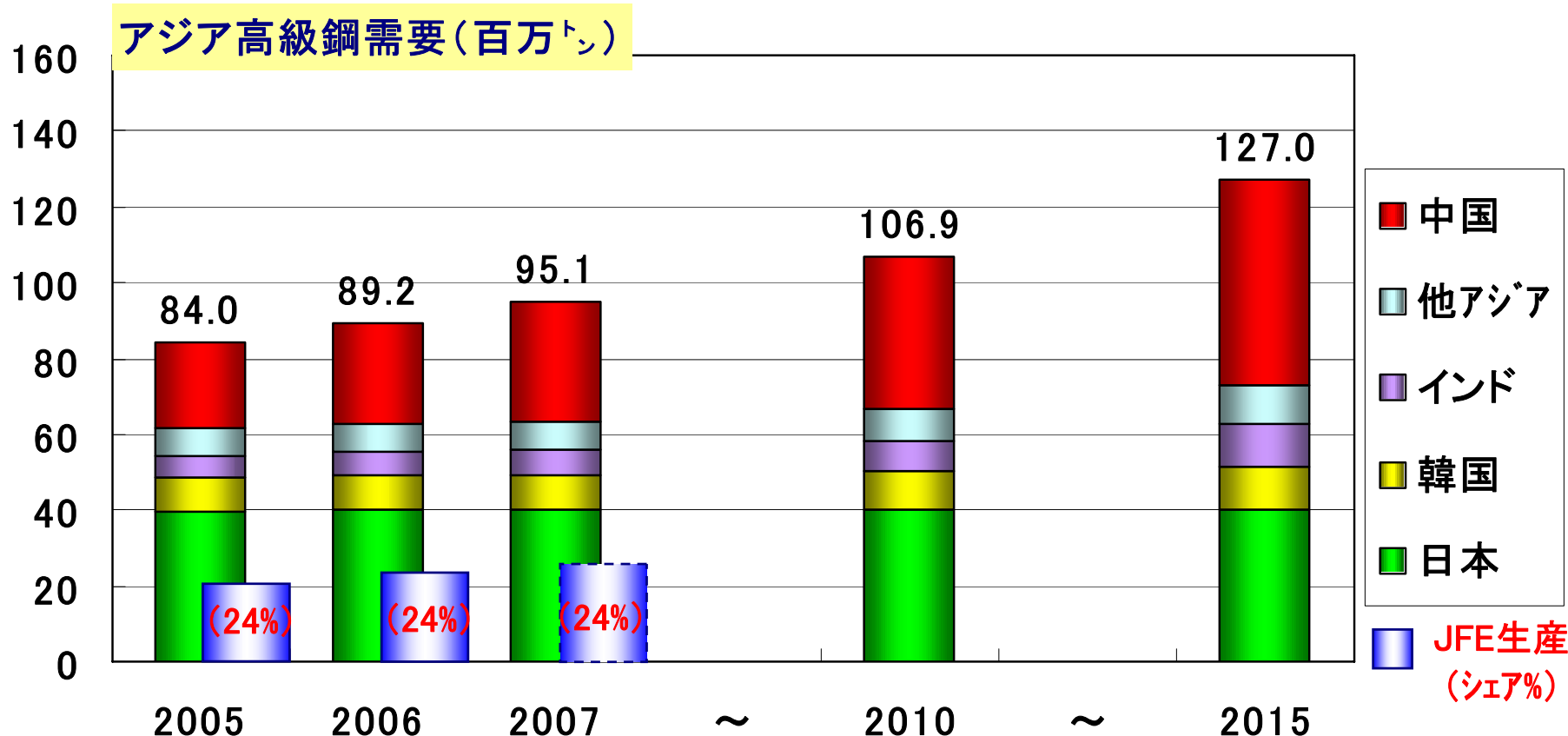




JFE

アジアの高級鋼需要予測（当社推定）

自動車・造船・産業機械・電機・エネルギー向け



- ◆アジアにおける汎用品は、将来供給過剰も想定される。
- ◆一方「高級鋼」については、2015年で1億2700万tの需要が予想され、引続き伸張する「高級鋼」市場をJFEの販売基盤として堅持する。



JFEスチール 中期経営方針

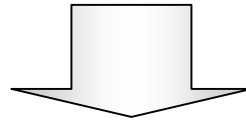
JFE

(1次中期) 経営統合の完遂、統合効果早期発現

FY2003～2005

(2次中期) 高付加価値商品サプライヤーとしての基盤固め

FY2006～2008



【3次中期(FY2009～2011)に向けて】

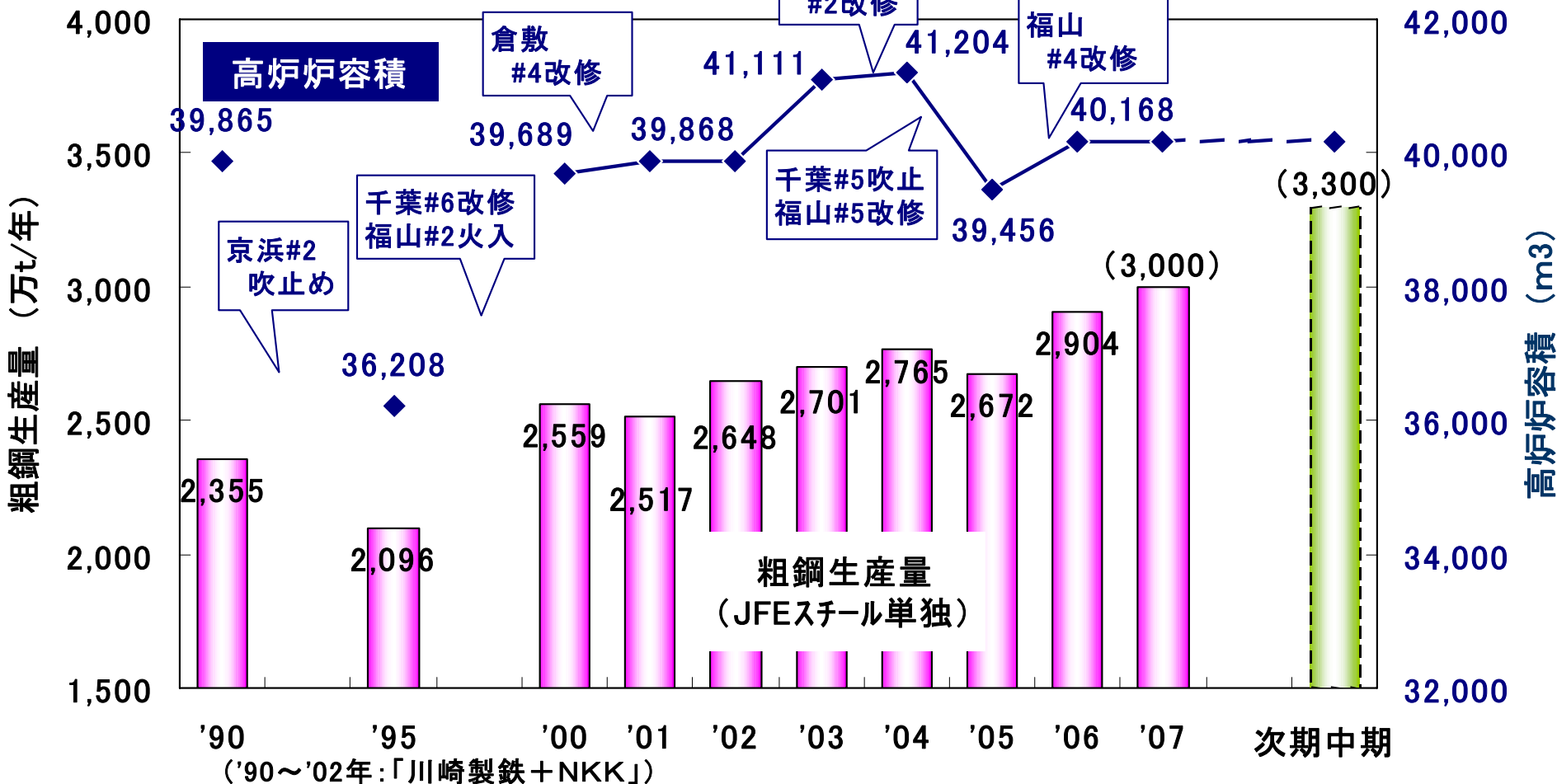
当社の技術優位性を活かし、拡大する高級鋼需要を捕捉

- ◇ 高級鋼マーケットの成長に応じた規模拡大(国内3,300万トン)
- ◇ 質の成長
(高付加価値商品の開発、環境対応)

JFEスチール これまでの取組み (粗鋼量:スチール単独)

JFEスチール・高炉炉容積と粗鋼生産実績

(炉容積は年度末実績、倉敷1BFは含まず)



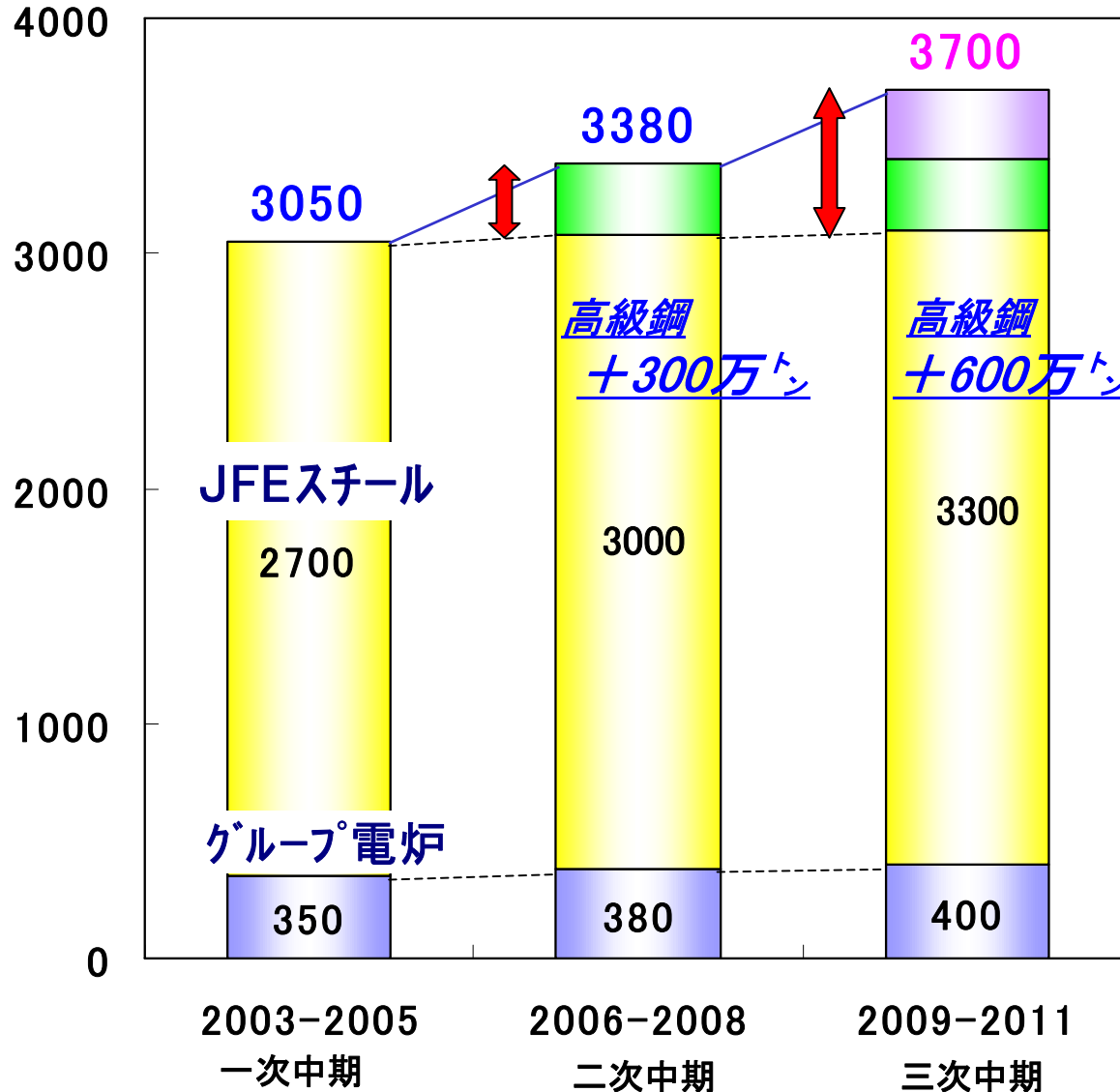
- ◆ 統合後 高炉9基体制において、粗鋼3,000万t/年を達成。
次期中期においても現体制下で、更に効率的な能力増強を構築。



国内での高級鋼の増産(+600万t) 粗鋼量:連結

JFE

連結粗鋼ベース(万t/年)



◆第2次中期(2006～)
高級鋼:+300万トン
⇒3,000万トン体制

◆次期中期(2009～)
高級鋼:+300万トン増
⇒国内3,300万トン体制

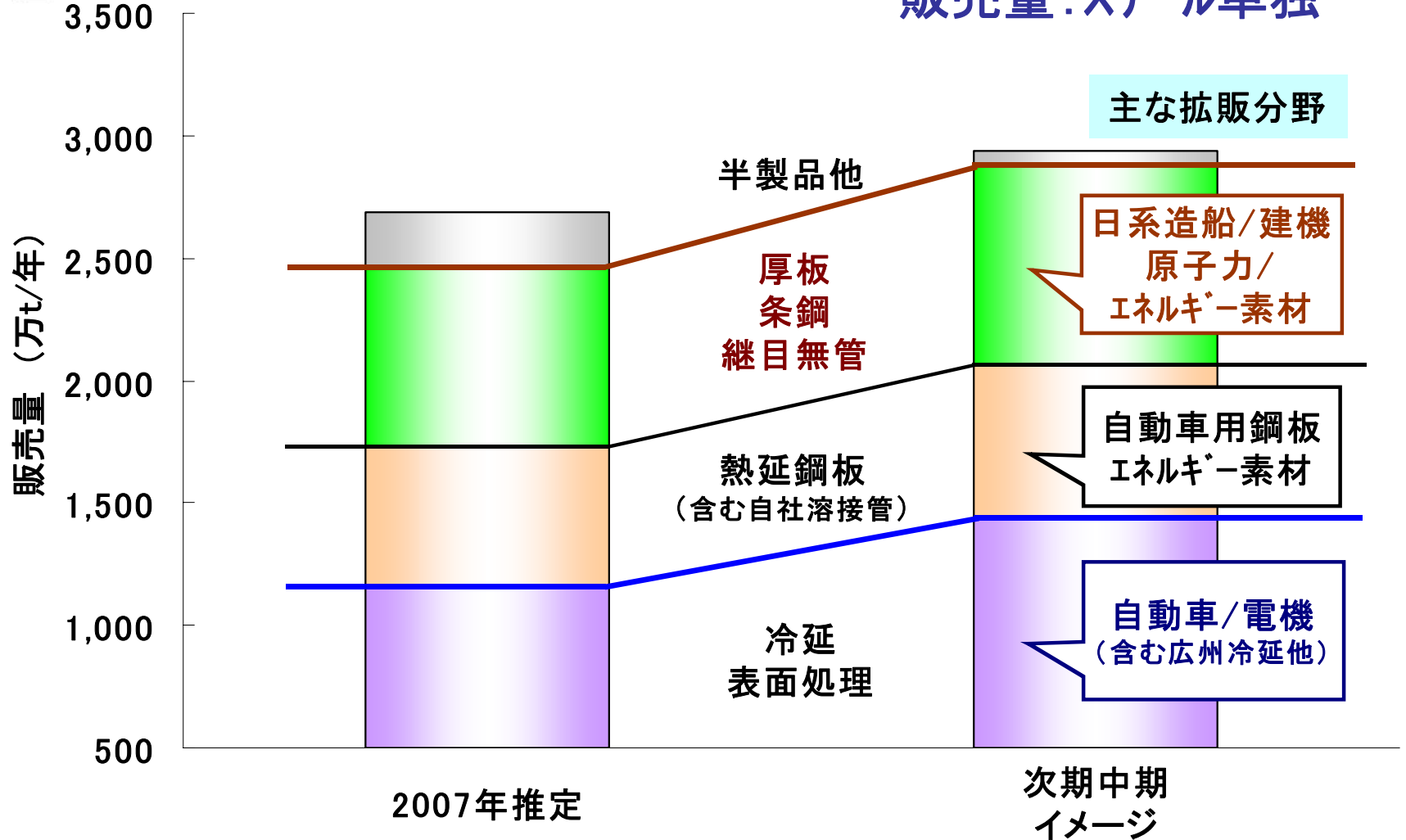
※対05年度
増分(+600万トン)は
全て高級鋼の増産。



JFE

次期中期に向けての販売計画案(分野別)

販売量: スチール単独



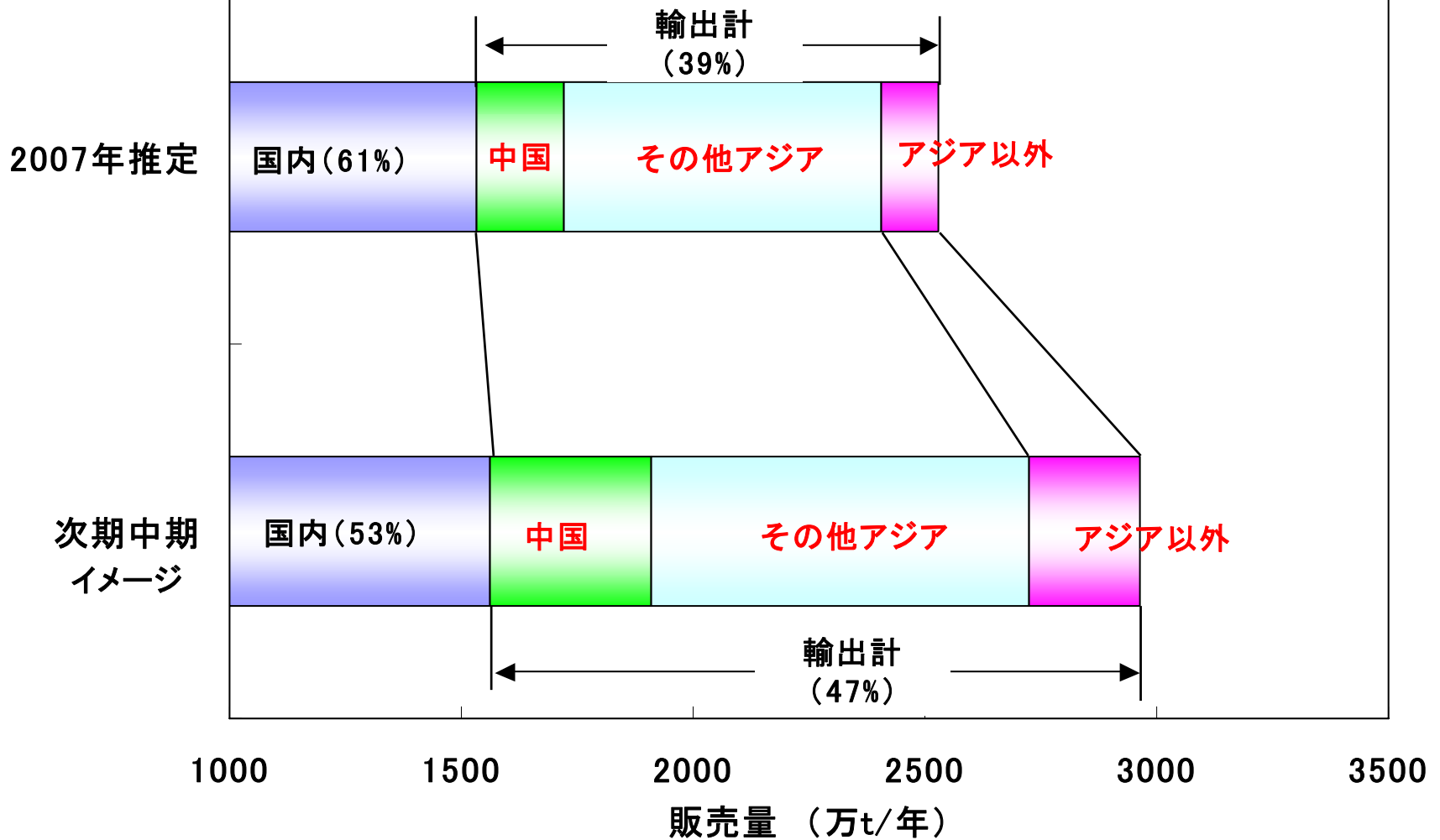
◆ 自動車・エネルギー関連向け等の「高級鋼」販売増を前提とした、粗鋼能力+300万t/年を計画。



次期中期に向けての販売計画案(地域別)

JFE

鋼材販売量(除く スラブ外販)

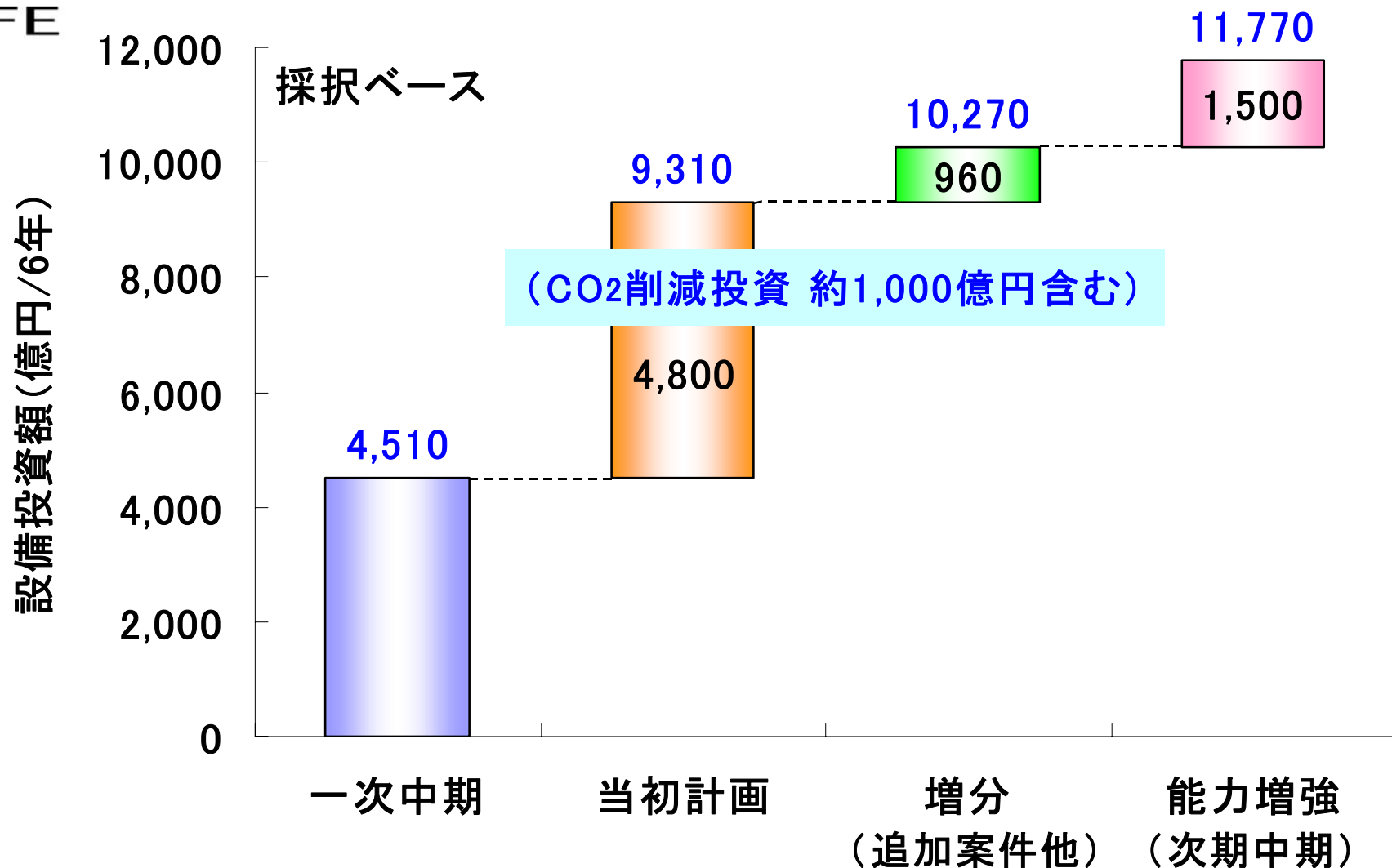


◆ アジアの「高級鋼」需要増に伴い、引き続き販売の中心はアジア。



JFE

設備投資見通し(2003~2008年度:連結ベース)



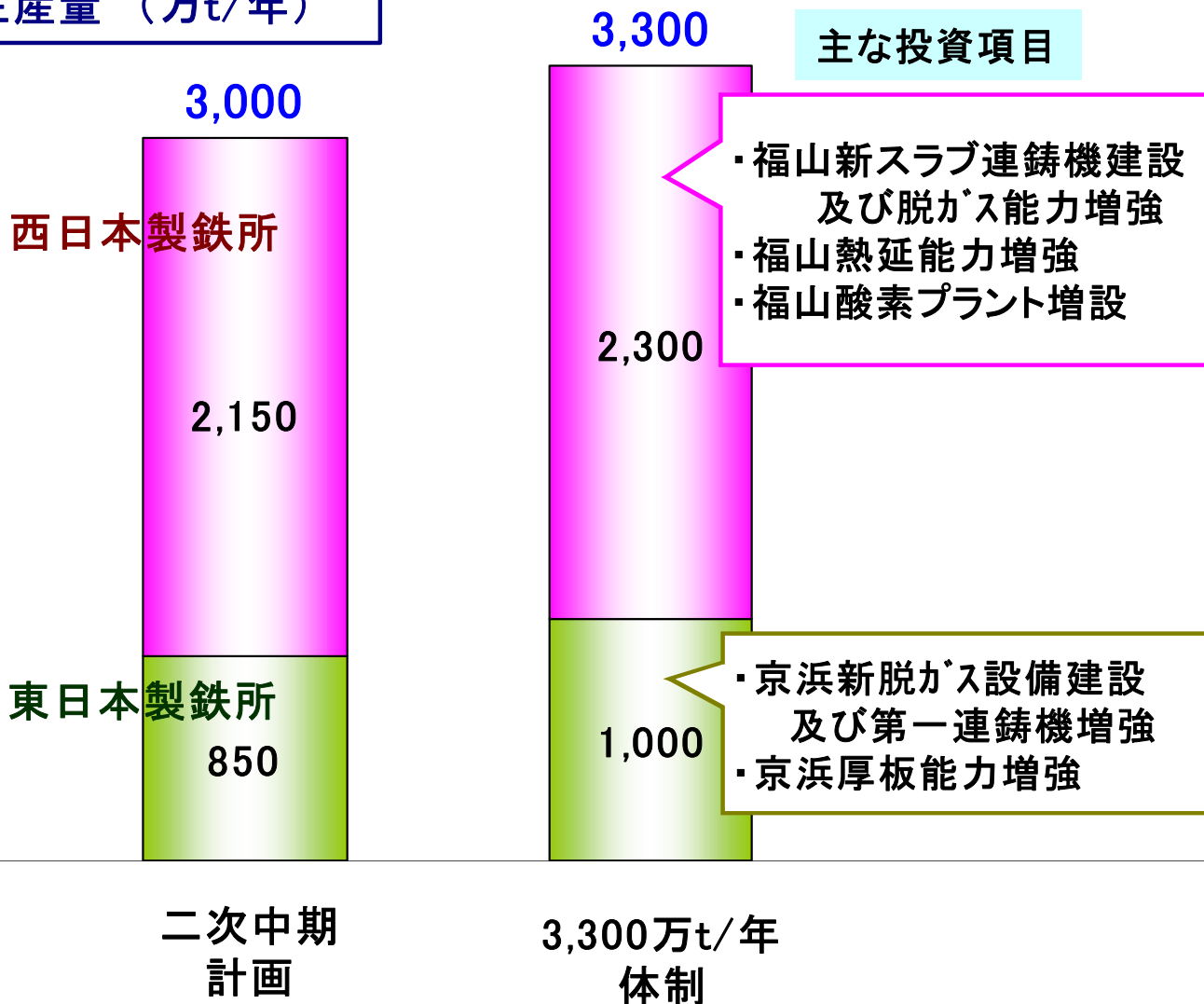
◆ 二次中期(06~08年)の設備投資総額は、当初計画4,800億円から次期中期能力増強分も含め、7,260億円規模へ増加の見込み。



JFE

主な能力増強投資案（スチール単独）

粗鋼生産量（万t/年）

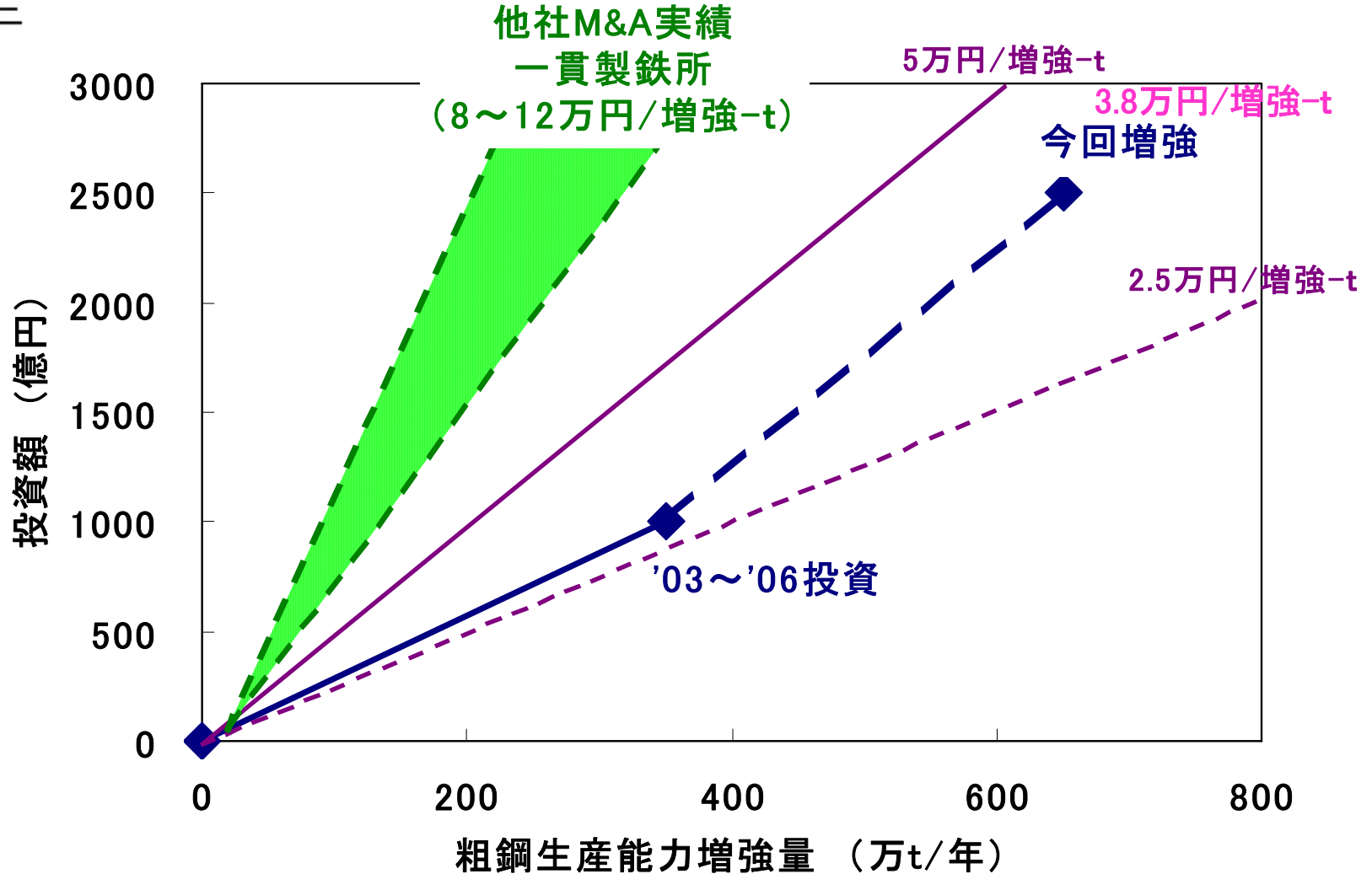


◆ 次期中期計画では、福山地区・京浜地区を中心に能力増強を計画。 50



JFE

能力増強の投資効率比較 (スチール単独)



◆統合後 一環して高効率な能力増強を志向。

第一次中期~今回増強のトータルの投資効率<4.0万円/増産-t。

JFEスチールの海外事業展開について

JFEスチールの海外事業展開

アジアを中心とする垂直分業体制の強化と
顧客の現地調達化への更なる対応

既存の提携関係の強化(現代、東国、タイ事業 等)

自動車を中心とする顧客の現地調達化への対応と、
アジアを中心に需要が拡大する地域での現地生産を拡大
(中国・冷延/CGL拡大、タイCGL検討、ティッセンとの提携拡大 等)

将来の粗鋼生産拡大のため
海外における一貫製鉄の事業性検討

原料の安定確保のための海外資源会社とのJ/V



海外ミルとのアライアンスの推進

JFE

中国

- ・Bohai NKK Drill Pipe
- ・Fujian Sino-Japan Metal
- ・Hainan Haiwoo Tinplate
- ・Guangzhou JFE Sheet

韓国

- ・Dongkuk Steel
- ・Hyundai HYSCO
- ・Dongbu Steel
- ・INI Steel
- ・SeAH Steel

カナダ

- ・DJG

ドイツ

- ・ThyssenKrupp
- ・Georgsmarienhuetten

ギリシャ

- ・Corinth Pipeworks

日本

・NKK Tubes
JFE Steel

米国

- ・CSI
- ・AK Steel
- ・US Steel

台湾

- ・Ton-yi

インドネシア

- ・Sermani Steel

コロンビア

- ・Holasa

タイ

- ・TCR, TCS
- ・TTP

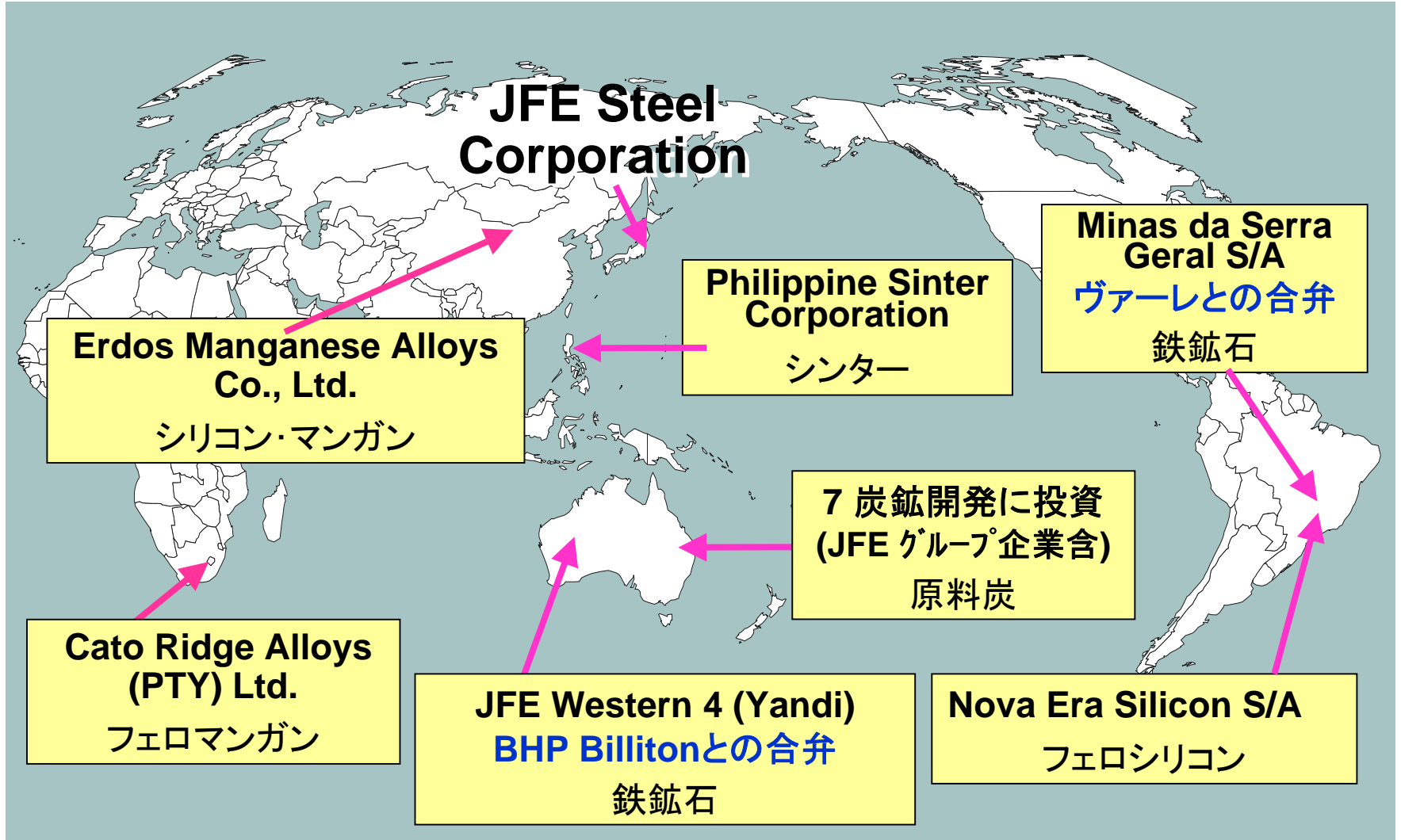
マレーシア
ベトナム

- ・Perstima



JFE

原料関係における海外事業展開





海外提携の事例(最近)

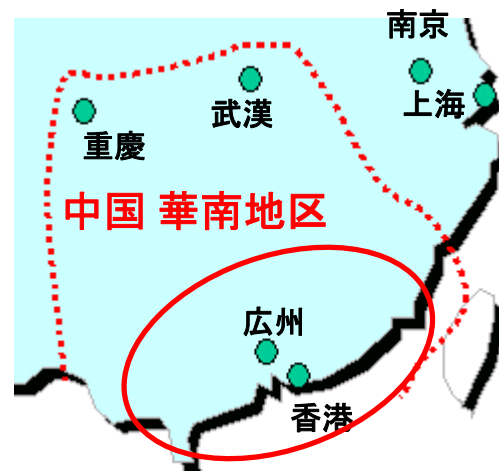
JFE

- 2008年1月(ドイツ) ティッセン・クルップ・スチール社と伸び性能を40%高めた複合組織型抗張力鋼板の共同開発に成功
- 2008年1月(アメリカ) ユナイテッド・ステイツ・スチール社と技術交流契約締結
- 2007年7月(中国) 広州市南沙開発区での冷延プロジェクトに関する合弁契約書の締結
- 2007年6月(アメリカ) C.S.I.社が第二加熱炉新設し生産能力を100万t/年増強
- 2006年12月(ドイツ) ティッセン・クルップ・スチール社との包括契約の延長
- 2006年9月(韓国) 東国製鋼(株)との提携強化
- 2006年7月(中国) 内モンゴルオールドスEJMマンガン合金有限公司のシリコンマンガン工場開所式



中国 広州冷延プロジェクト (広州JFE鋼板有限公司)の概要

- (1) 生産能力の拡張
- | | |
|--------|--------------------------|
| 冷延鋼板 | 年産180万トン(設備新設):2010年稼動予定 |
| 表面処理鋼板 | 年産80万トン(現状40万トン):06/3稼動 |
| 連続焼鈍設備 | 年産100万トン(設備新設):2010年稼動予定 |
- (2) 新規投資額 約500百万USDドル ⇒ 累積700百万USDドル
- (3) 出資比率
- | | |
|--------------|-----|
| JFEスチール株式会社 | 50% |
| 広州鋼鉄企業集团有限公司 | 50% |



広州トヨタ、ホンダなどの自動車メーカー
および家電メーカーへ鋼板を供給



JFE

ThyssenKrupp(TKS)社との提携

包括提携契約の締結(2002/3)

JFEとTKSがそれぞれ持つ技術力、研究開発力を組み合わせることで、自動車鋼板のグローバルニーズに応えていくことを目的とし、相互技術供与、共同研究開発を行う。

具体的な成果

【JFE⇒TKS】

- ・JFEの技術協力に基づきTKS社が欧州トヨタの外板用焼付硬化型鋼板の受注に成功(2002/11)

【TKS⇒JFE】

- ・水島鋼板(株)にノーテルファー社(TKSグループ)製のテーラードウェルトブランク(TWB)設備を導入(2004夏)し、TWB試作を開始

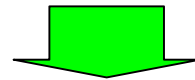
【JFE⇔TKS】

- ・自動車用鋼板の共通規格取り纏め(2004/11)
- ・両社ハイツ材の相互ライセンス許諾(2004/11)
- ・自動車向けEVI活動推進のため合弁会社(ジーバイス(株))を設立(2005/6)
- ・伸び性能を40%高めた複合組織型高張力鋼板の共同開発に成功(2008/1)

海外における一貫製鉄の事業性検討

既存の提携関係、垂直分業を維持拡大しつつ、
海外における上工程を含む一貫製鉄事業を検討中

- ・顧客製造拠点の現地化シフトに対応した垂直分業の拡大
⇒ 高成長市場(BRICs他)において新たな粗鋼生産拠点を確保
- ・高級鋼生産比率を高めつつ、グループ粗鋼生産能力を拡大
- ・CO2問題を始めとする国内増産コスト増への対応



東南アジアおよびブラジル一貫製鉄事業を検討中

- ・東南アジア地域において複数の一貫製鉄所建設を検討中
- ・その一つとして、タイ政府に対しタイでの投資計画を提示
- ・ブラジルについても、原料ソース・北米顧客への対応を念頭に検討中



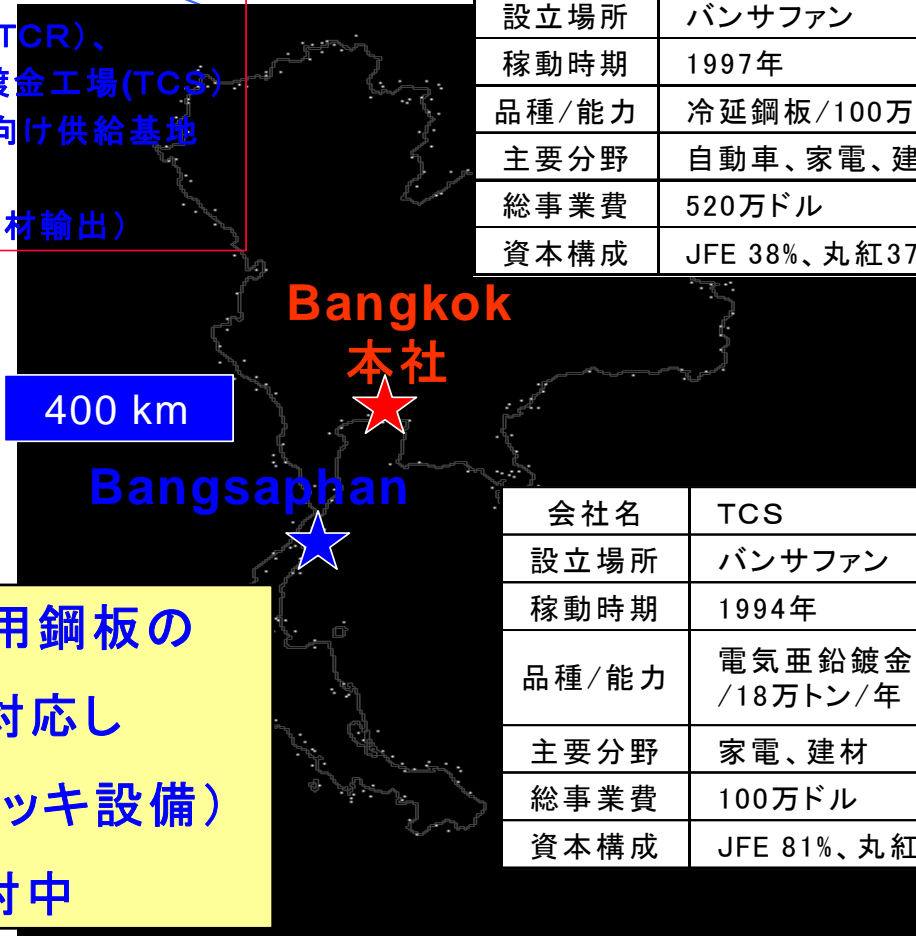
JFE

タイ事業展開(TCR・TCS)

事業展開の目的

1. タイ国初の冷延工場(TCR)、タイ唯一の電気亜鉛鍍金工場(TCS)
2. 急伸する日系自動車向け供給基地
3. 家電向高級鋼対応
4. 垂直分業体制(JFE素材輸出)

会社名	TCR
設立場所	バンサファン
稼動時期	1997年
品種/能力	冷延鋼板/100万トン/年
主要分野	自動車、家電、建材
総事業費	520万ドル
資本構成	JFE 38%、丸紅37%、他



加えて、自動車用鋼板の
需要増大に対応し
CGL(溶融亜鉛メッキ設備)
の設立検討中

会社名	TCS
設立場所	バンサファン
稼動時期	1994年
品種/能力	電気亜鉛鍍金鋼板 /18万トン/年
主要分野	家電、建材
総事業費	100万ドル
資本構成	JFE 81%、丸紅10%、他

以上